

# 『あま市都市計画マスタープラン』及び『あま市緑の基本計画』 策定に係る市民アンケート調査結果のまとめ（速報版）

2020（令和2）年12月25日時点

## 1. アンケート調査の概要

### （1）調査目的

- ・都市計画マスタープラン及び緑の基本計画の策定にあたり、市民の意見や要望を計画に反映させるため実施しました。

### （2）調査概要

【調査期間】2020（令和2）年9月17日（木）～9月30日（水）

【調査方法】郵送配布・回収

【調査対象】満18歳以上の市民3,000名（住民基本台帳より無作為抽出）

### （3）回収数

- ・本調査の回収率は、45.3%です。

配布数	回収数	回収率
3,000	1,360	45.3%

※各地区の配布数は、甚目寺地区（1,426）、美和地区（832）、七宝地区（742）

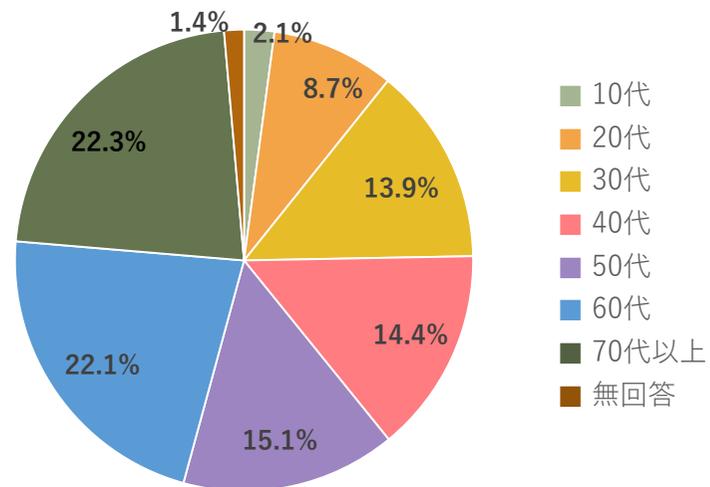
## 2. アンケート調査結果

### (1) 属性

#### 問1 年齢（単一回答）

・「60代」（22.1%）、「70代」（23.3%）がほぼ同率で最も多く、次いで「50代」（15.1%）、「40代」（14.4%）となっています。

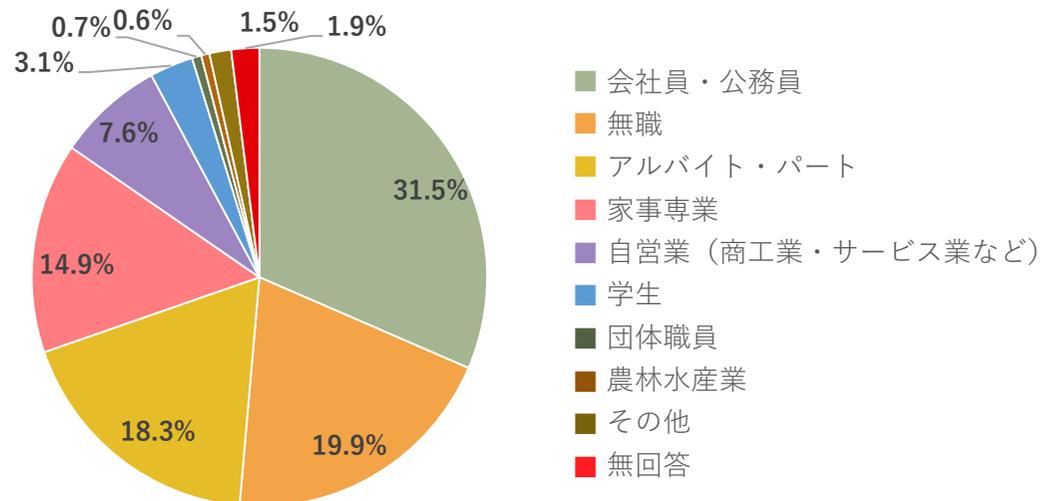
項目	回答数
10代	29
20代	118
30代	189
40代	196
50代	206
60代	300
70代以上	303
無回答	19
合計	1360



#### 問2 職業（単一回答）

・「会社員・公務員」（31.5%）が最も多く、次いで「無職」（19.9%）、「アルバイト・パート」（18.3%）となっています。

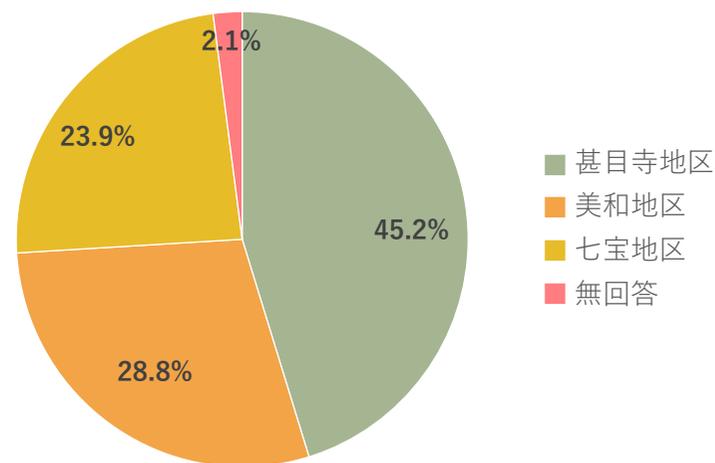
項目	回答数
会社員・公務員	428
無職	271
アルバイト・パート	249
家事専業	202
自営業（商工業・サービス業など）	103
学生	42
団体職員	9
農林水産業	8
その他	21
無回答	27
計	1360



**問3 居住地区（単一回答）**

・回答者の割合は「甚目寺地区」（45.2%）、「美和地区」（28.8%）、「七宝地区」（23.9%）となっています。

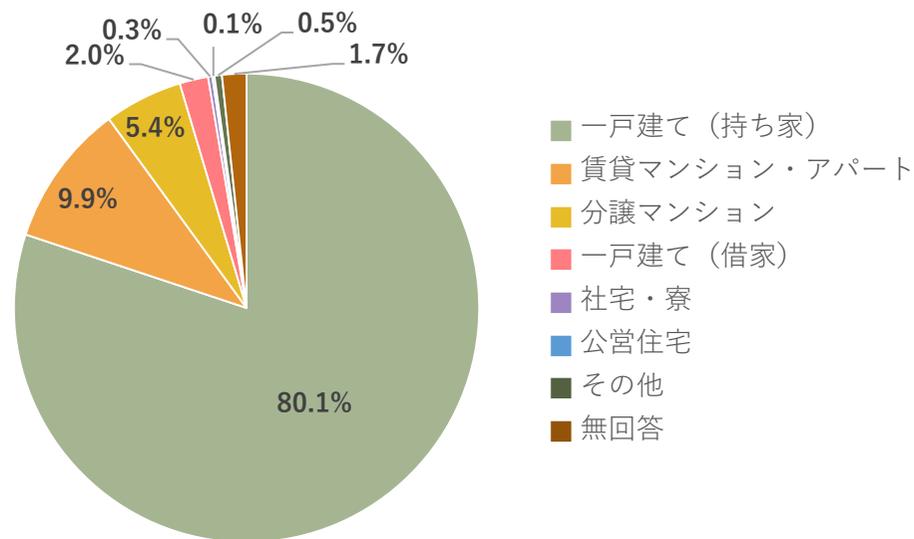
項目	回答数
甚目寺地区	615
美和地区	392
七宝地区	325
無回答	28
計	1360



**問4 居住形態（単一回答）**

・回答者の大半が「一戸建て（持ち家）」（80.1%）に住んでおり、分譲マンションや賃貸マンション・アパートに住む回答者は15.3%となっています。

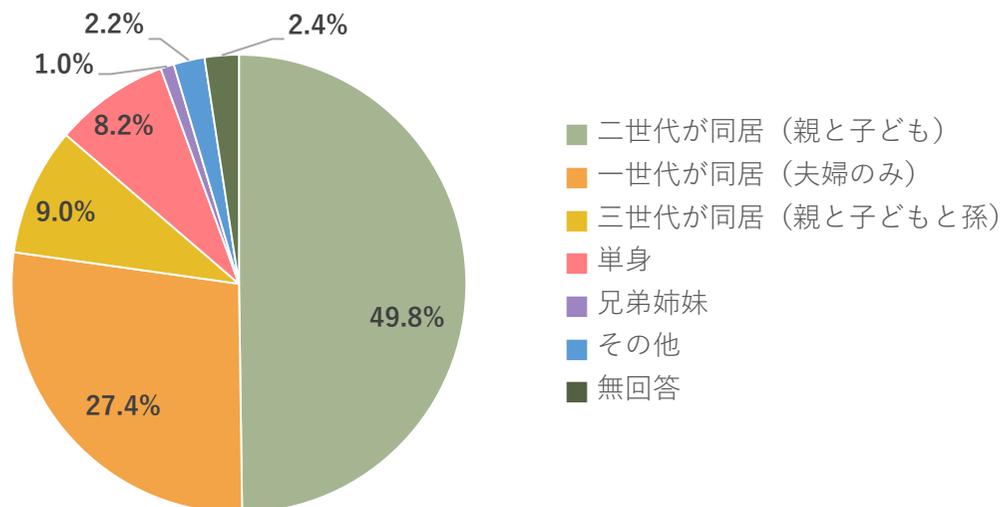
項目	回答数
一戸建て（持ち家）	1089
賃貸マンション・アパート	134
分譲マンション	74
一戸建て（借家）	27
社宅・寮	4
公営住宅	2
その他	7
無回答	23
計	1360



**問5 家族構成（単一回答）**

・「二世代が同居（親と子ども）」（49.8%）が最も多く、次いで「一世代が同居（夫婦のみ）」（27.4%）、「三世代が同居（親と子どもと孫）」（9.0%）となっています。

項目	回答数
二世代が同居（親と子ども）	677
一世代が同居（夫婦のみ）	373
三世代が同居（親と子どもと孫）	123
単身	111
兄弟姉妹	13
その他	30
無回答	33
計	1360



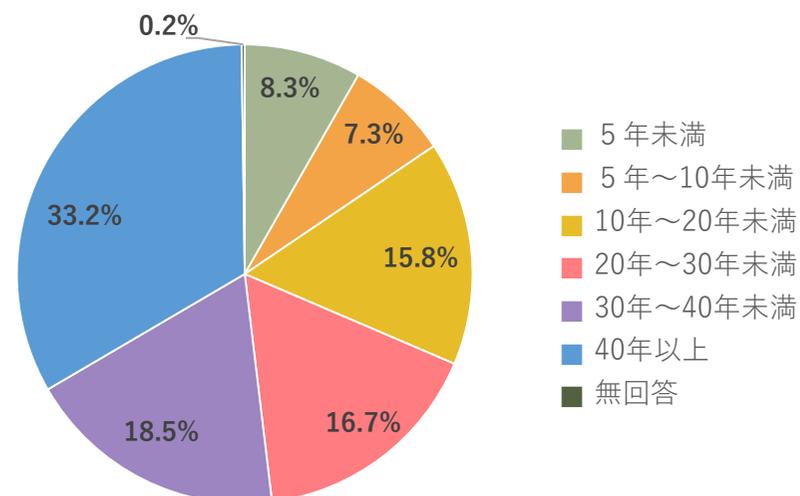
**（2）都市計画マスタープラン**

**【I 今後の居住意向】**

**問1 居住年数（合併以前から合算）（単一回答）**

・2010（平成22）年の合併以前からあま市に住んでいる回答者は84.2%、合併後から本市に住んでいる回答者は15.6%となっています。

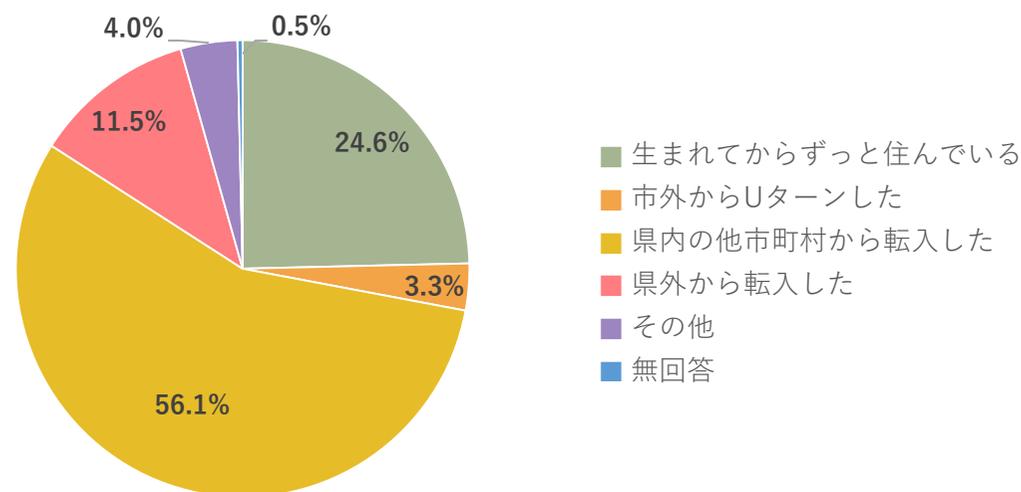
項目	回答数
5年未満	113
5年～10年未満	99
10年～20年未満	215
20年～30年未満	227
30年～40年未満	252
40年以上	451
無回答	3
合計	1360



## 問2 居住している経緯（単一回答）

・県内もしくは県外から転入している回答者は67.6%と高い傾向にある一方で、「生まれてからずっと住んでいる」回答者は24.6%となっています。また、一度市外へ転出しその後再びあま市に戻ってきた（Uターン）回答者は3.3%となっています。

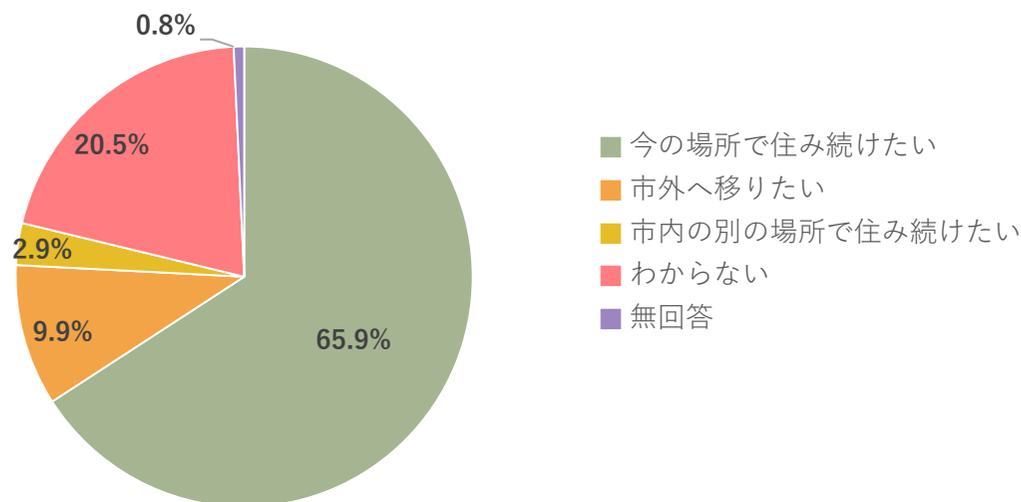
項目	回答数
生まれてからずっと住んでいる	335
市外からUターンした	45
県内の他市町村から転入した	763
県外から転入した	157
その他	55
無回答	5
合計	1360



## 問3 今後の居住意向（単一回答）

・「今の場所で住みたい（65.9%）」が比較的高い傾向にある一方で、13.8%の回答者は市内の別の場所、もしくは市外へ移りたいと回答しています。

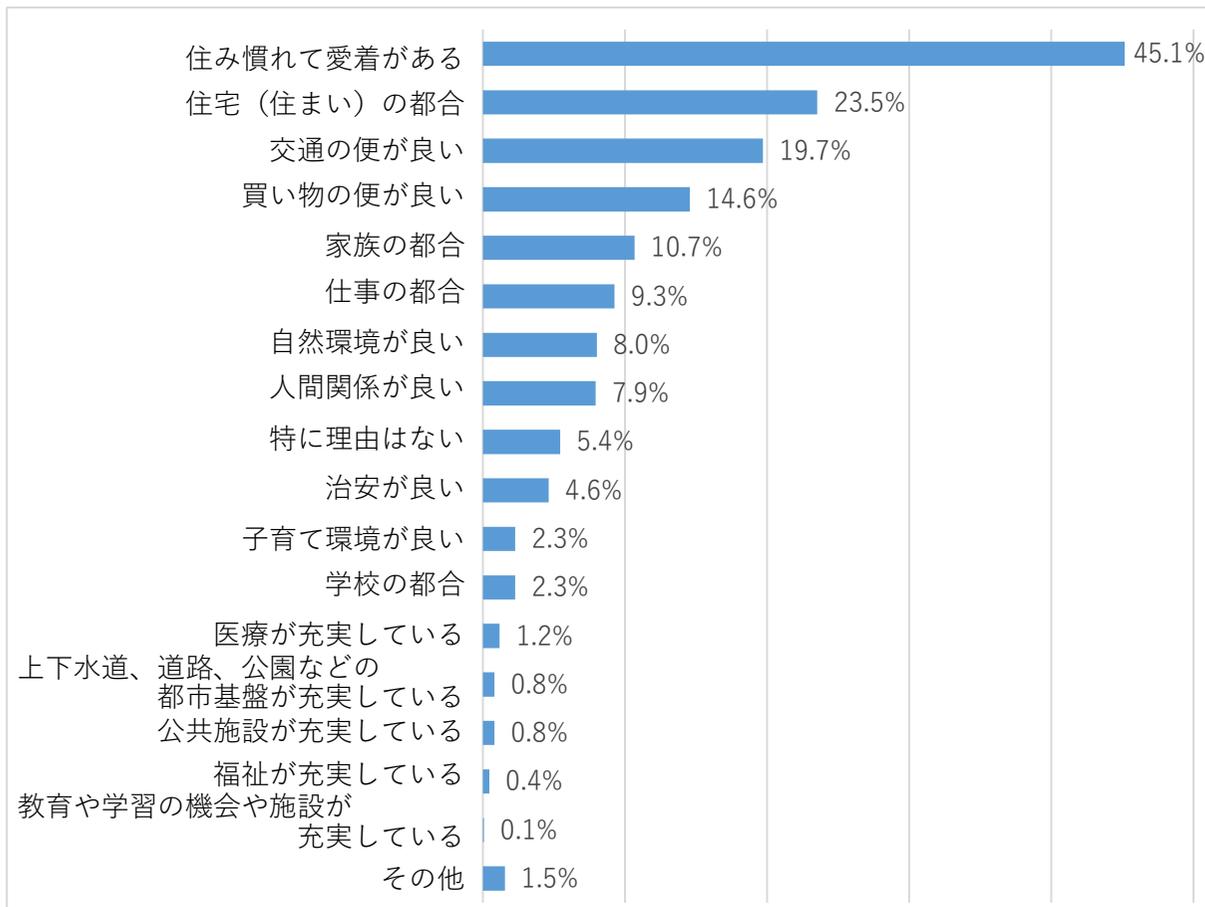
項目	回答数
今の場所で住みたい	896
市外へ移りたい	135
市内の別の場所で住みたい	40
わからない	279
無回答	10
合計	1360



**問4** (問3「1. 今の場所で住み続けたい」とご回答した方) 住み続けたいと思う理由 (3つまで回答)

・住み続けたい理由として、「住み慣れて愛着がある」(45.1%)が最も高く、次いで「住宅(住まい)の都合」(23.5%)となっています。その他にも「交通の便が良い」(19.7%)や「買い物の便が良い」(14.6%)などが挙げられています。

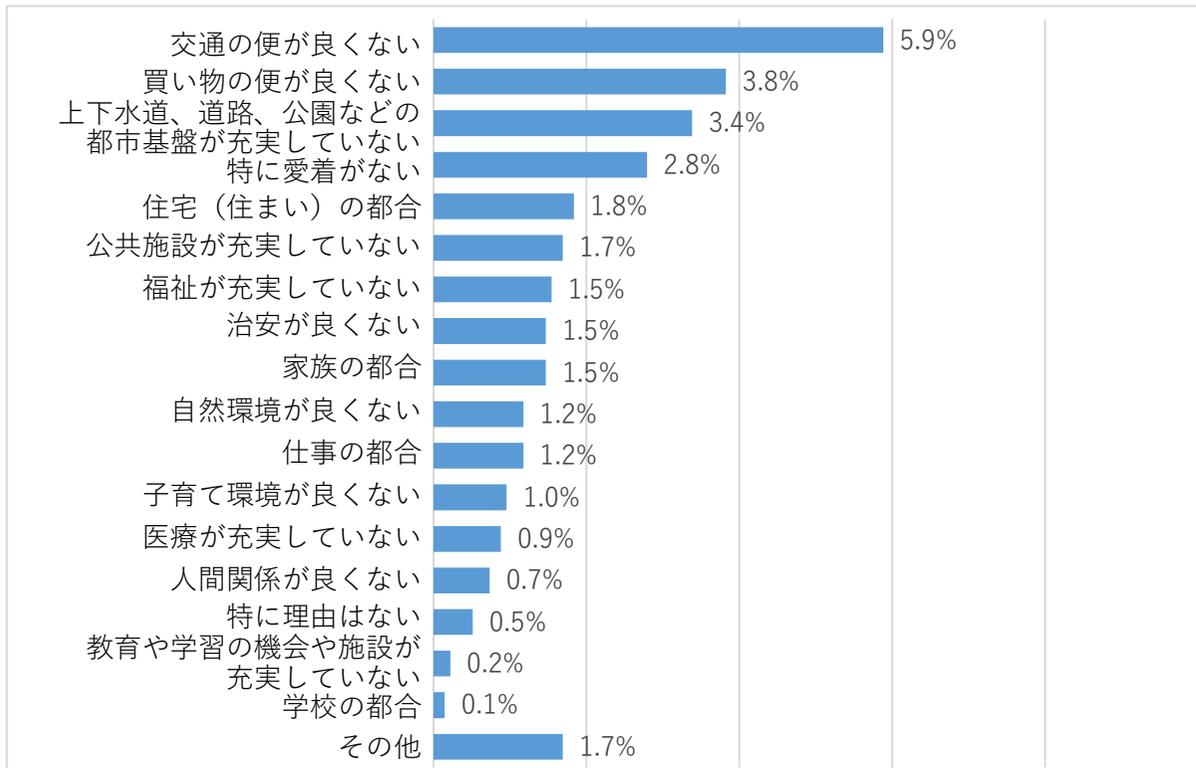
項目	回答数
住み慣れて愛着がある	614
住宅(住まい)の都合	320
交通の便が良い	268
買い物の便が良い	198
家族の都合	145
仕事の都合	126
自然環境が良い	109
人間関係が良い	108
特に理由はない	74
治安が良い	63
子育て環境が良い	31
学校の都合	31
医療が充実している	16
上下水道、道路、公園などの都市基盤が充実している	11
公共施設が充実している	11
福祉が充実している	6
教育や学習の機会や施設が充実している	1
その他	21
合計	2153



**問5** (問3「2. 市内の別の場所で住みたい」「3. 市外へ移りたい」とご回答した方) 移転したいと思う理由(3つまで回答)

・市内の別の場所もしくは市外へ移りたいと思う理由として、「交通の便が良くない」(5.9%)や「買い物の便が良くない」(3.8%)、「上下水道、道路、公園などの都市基盤が充実していない」(3.4%)が挙げられています。

項目	回答数
交通の便が良くない	80
買い物の便が良くない	52
上下水道、道路、公園などの都市基盤が充実していない	46
特に愛着がない	38
住宅(住まい)の都合	25
公共施設が充実していない	23
福祉が充実していない	21
治安が良くない	20
家族の都合	20
自然環境が良くない	16
仕事の都合	16
子育て環境が良くない	13
医療が充実していない	12
人間関係が良くない	10
特に理由はない	7
教育や学習の機会や施設が充実していない	3
学校の都合	2
その他	23
計	427



**問6** (問3「2. 市内の別の場所で住みたい」「3. 市外へ移りたい」とご回答した方) 移転先として考えている場所や地域(自由記述)

・移転先としてあま市内を挙げた回答者は8人となっています。愛知県内の市町を挙げた回答者は92人おり、「名古屋市」が最も多くなっています。

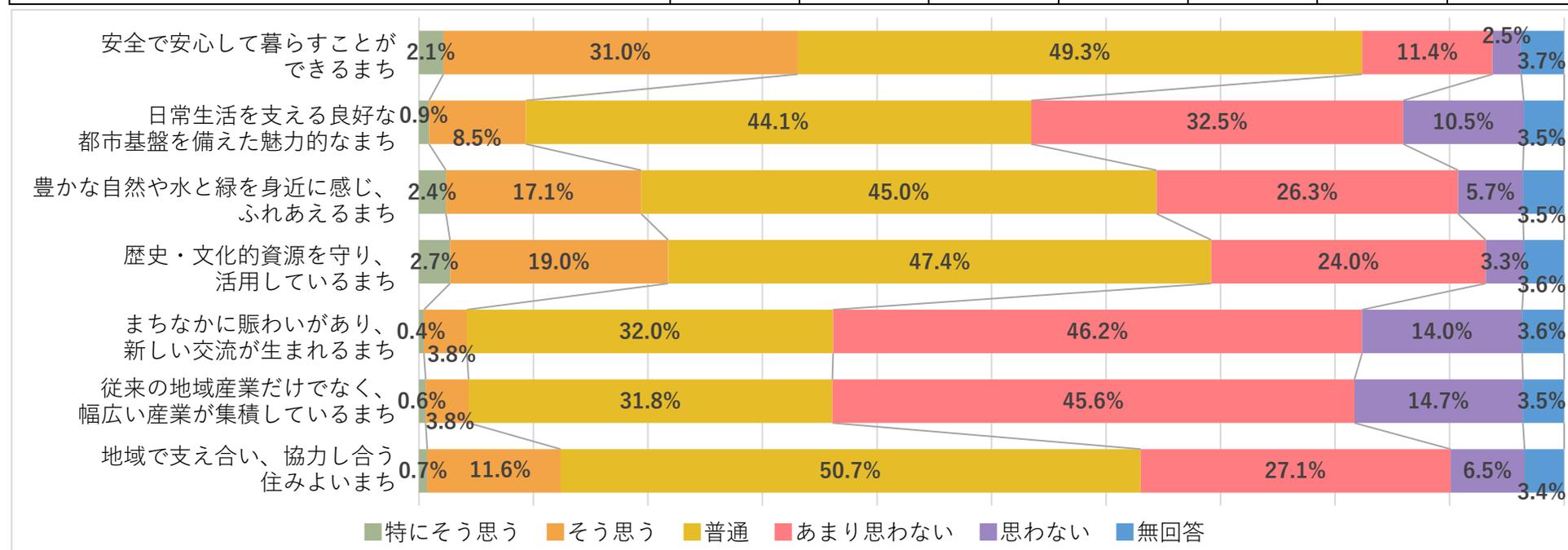
主な移転先		回答数
あま市内	鉄道駅が近い場所、木田区画整理事業地内 等	8
愛知県内	名古屋市	64
	名古屋市以外(長久手市、春日井市、一宮市 等)	20
愛知県外	三重県、岐阜県、静岡県、東京都 等	9
その他	徒歩圏内に買い物施設や医療施設が揃っている場所 公共施設が充実している場所、水害の心配がない場所 周辺に自然や公園がある場所 等	18

## 【Ⅱ あま市の現状について】

### 問7 現在のあま市のイメージ（項目毎に回答）

- ・回答者が思うあま市のイメージとしては、「安全で安心して暮らすことができるまち」や「歴史・文化的資源を守り、活用しているまち」というイメージがあるものの、「まちなかに賑わいがあり、新しい交流が生まれるまち」や「従来の地域産業だけでなく、幅広い産業が集積しているまち」というイメージはほとんど持たれていません。

項目	回答数						合計
	特に そう思う	そう思う	普通	あまり 思わない	思わない	無回答	
安全で安心して暮らすことができるまち	29	421	670	155	34	51	1360
日常生活を支える良好な都市基盤を備えた魅力的なまち	12	115	600	442	143	48	1360
豊かな自然や水と緑を身近に感じ、ふれあえるまち	32	232	612	358	77	49	1360
歴史・文化的資源を守り、活用しているまち	37	259	645	326	45	48	1360
まちなかに賑わいがあり、新しい交流が生まれるまち	6	51	435	628	190	50	1360
従来の地域産業だけでなく、幅広い産業が集積しているまち	8	51	432	620	200	49	1360
地域で支え合い、協力し合う住みよいまち	10	158	689	368	88	47	1360

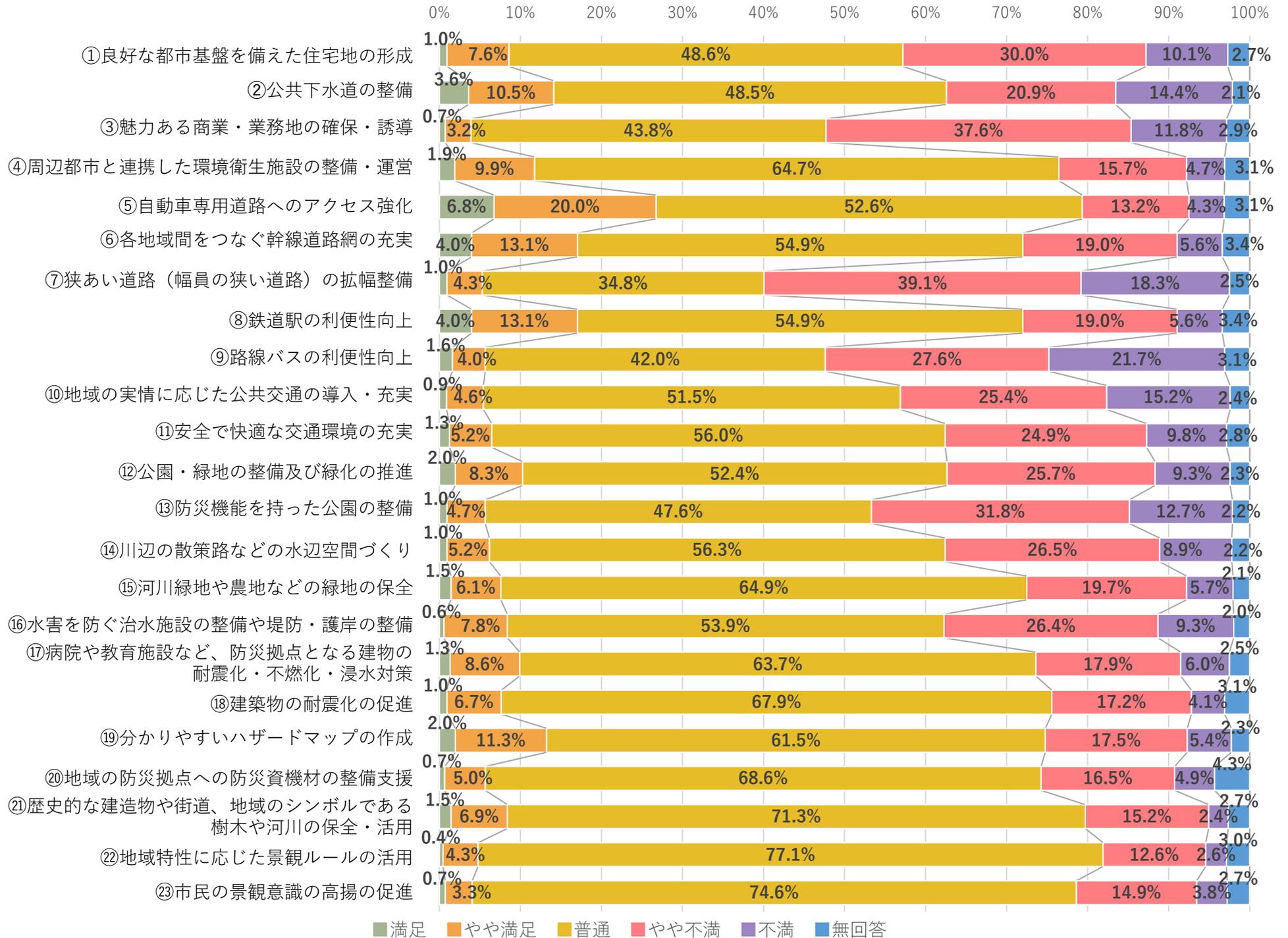


問8 あま市のまちづくりに対する「現状の満足度」と「今後の重要度」（項目毎に回答）

<現状の満足度>

・全体的にあま市のまちづくりに対して「満足・やや満足」と思う回答者は少ない傾向にありますが、「自動車専用道路へのアクセス強化」や「鉄道駅の利便性向上」、「各地域間をつなぐ幹線道路網の充実」などの移動のしやすさの点は、他の項目と比較して満足度が高い傾向にあります。一方で、「魅力ある商業・業務地の確保・誘導」や「狭あい道路（幅員の狭い道路）の拡幅整備」、「路線バスの利便性向上」などの日常生活に密接に関係するものについては、満足度が特に低い状況となっています。

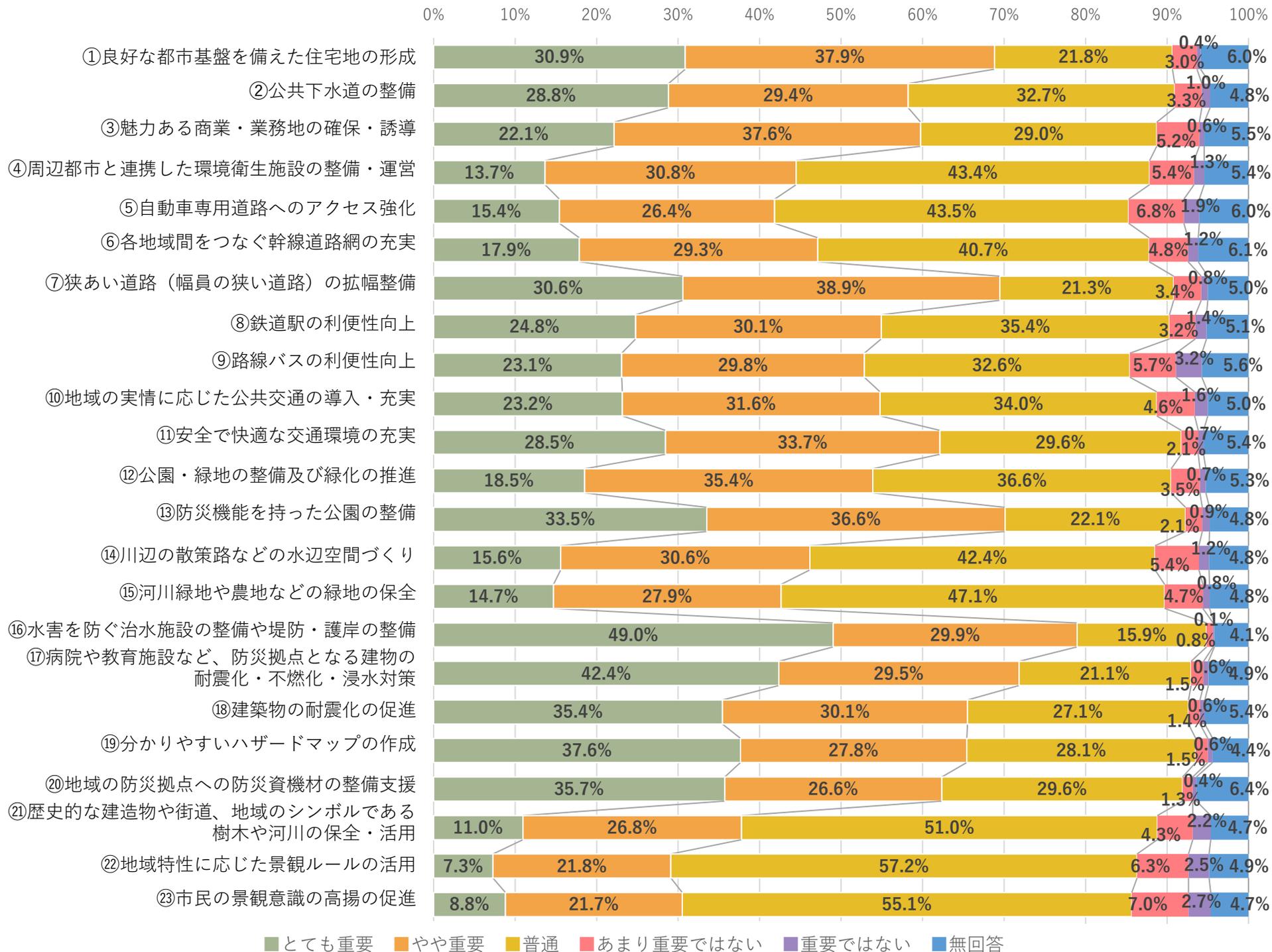
項目		回答数						合計
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	
市街地・ 拠点	①良好な都市基盤を備えた住宅地の形成	13	104	661	408	137	37	1,360
	②公共下水道の整備	49	143	659	284	196	29	1,360
	③魅力ある商業・業務地の確保・誘導	10	43	596	512	160	39	1,360
	④周辺都市と連携した環境衛生施設の整備・運営	26	134	880	214	64	42	1,360
道路・ 交通	⑤自動車専用道路へのアクセス強化	92	272	715	179	59	43	1,360
	⑥各地域間をつなぐ幹線道路網の充実	54	178	747	259	76	46	1,360
	⑦狭あい道路（幅員の狭い道路）の拡幅整備	13	59	473	532	249	34	1,360
	⑧鉄道駅の利便性向上	54	178	747	259	76	46	1,360
	⑨路線バスの利便性向上	22	55	571	375	295	42	1,360
	⑩地域の実情に応じた公共交通の導入・充実	12	62	700	346	207	33	1,360
水・ 緑	⑪安全で快適な交通環境の充実	17	71	761	338	134	39	1,360
	⑫公園・緑地の整備及び緑化の推進	27	113	712	349	126	33	1,360
	⑬防災機能を持った公園の整備	13	64	648	433	173	29	1,360
	⑭川辺の散策路などの水辺空間づくり	13	71	765	360	121	30	1,360
防災	⑮河川緑地や農地などの緑地の保全	20	83	883	268	78	28	1,360
	⑯水害を防ぐ治水施設の整備や堤防・護岸の整備	8	106	733	359	127	27	1,360
	⑰病院や教育施設など、防災拠点となる建物の耐震化・不燃化・浸水対策	18	117	866	243	82	34	1,360
	⑱建築物の耐震化の促進	13	91	924	234	56	42	1,360
	⑲分かりやすいハザードマップの作成	27	153	837	238	74	31	1,360
街並み・ 景観	⑳地域の防災拠点への防災資機材の整備支援	9	68	933	224	67	59	1,360
	㉑歴史的な建造物や街道、地域のシンボルである樹木や河川の保全・活用	20	94	970	207	33	36	1,360
	㉒地域特性に応じた景観ルールを活用	6	59	1049	172	35	39	1,360
	㉓市民の景観意識の高揚の促進	10	45	1014	202	51	38	1,360



<今後の重要度>

・満足度の低さに比例して、全体的に重要度が高い傾向にあります。特に「水害を防ぐ治水施設の整備や堤防・護岸の整備」や「良好な都市基盤を備えた住宅地の形成」、「狭あい道路（幅員の狭い道路）の拡幅整備」等は重要度が7割程度を占めています。

項目		回答数						合計
		とても重要	やや重要	普通	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	
市街地・拠点	①良好な都市基盤を備えた住宅地の形成	420	516	297	41	6	80	1,360
	②公共下水道の整備	392	400	445	45	14	64	1,360
	③魅力ある商業・業務地の確保・誘導	301	512	394	71	8	74	1,360
	④周辺都市と連携した環境衛生施設の整備・運営	186	419	590	74	17	74	1,360
道路・交通	⑤自動車専用道路へのアクセス強化	210	359	591	92	26	82	1,360
	⑥各地域間をつなぐ幹線道路網の充実	243	398	553	65	17	84	1,360
	⑦狭あい道路（幅員の狭い道路）の拡幅整備	416	529	290	46	11	68	1,360
	⑧鉄道駅の利便性向上	337	410	481	43	19	70	1,360
	⑨路線バスの利便性向上	314	405	443	77	43	78	1,360
	⑩地域の実情に応じた公共交通の導入・充実	315	430	462	63	22	68	1,360
水・緑	⑪安全で快適な交通環境の充実	387	458	403	28	9	75	1,360
	⑫公園・緑地の整備及び緑化の推進	252	481	498	48	10	71	1,360
	⑬防災機能を持った公園の整備	456	498	301	28	12	65	1,360
	⑭川辺の散策路などの水辺空間づくり	212	416	576	73	17	66	1,360
防災	⑮河川緑地や農地などの緑地の保全	200	380	640	64	11	65	1,360
	⑯水害を防ぐ治水施設の整備や堤防・護岸の整備	667	407	216	11	2	57	1,360
	⑰病院や教育施設など、防災拠点となる建物の耐震化・不燃化・浸水対策	576	401	287	21	8	67	1,360
	⑱建築物の耐震化の促進	482	409	369	19	8	73	1,360
	⑲分かりやすいハザードマップの作成	512	378	382	20	8	60	1,360
	⑳地域の防災拠点への防災資機材の整備支援	486	362	402	17	6	87	1,360
街並み・景観	㉑歴史的な建造物や街道、地域のシンボルである樹木や河川の保全・活用	149	365	694	59	30	63	1,360
	㉒地域特性に応じた景観ルールを活用	99	297	778	86	34	66	1,360
	㉓市民の景観意識の高揚の促進	120	295	750	95	37	63	1,360



■ とても重要
 ■ やや重要
 ■ 普通
 ■ あまり重要ではない
 ■ 重要ではない
 ■ 無回答

### 【Ⅲ 日常生活の移動について】

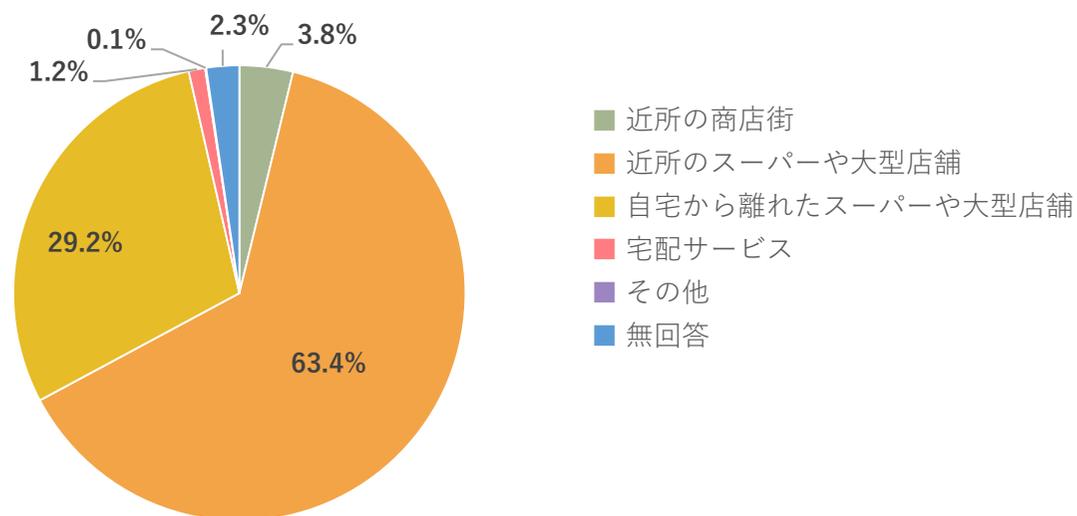
#### 問9 交通手段（項目毎に回答）

##### <日用品の買い物場所と交通手段>

・日用品の買い物場所は、「近所のスーパーや大型店舗」（63.4%）が最も多く、次いで「自宅から離れたスーパーや大型店舗」（29.2%）となっています。交通手段は、「自家用車（自分で運転・他の人が運転の合計）」（77.9%）が最も多く、次いで「自転車」（14.5%）となっています。

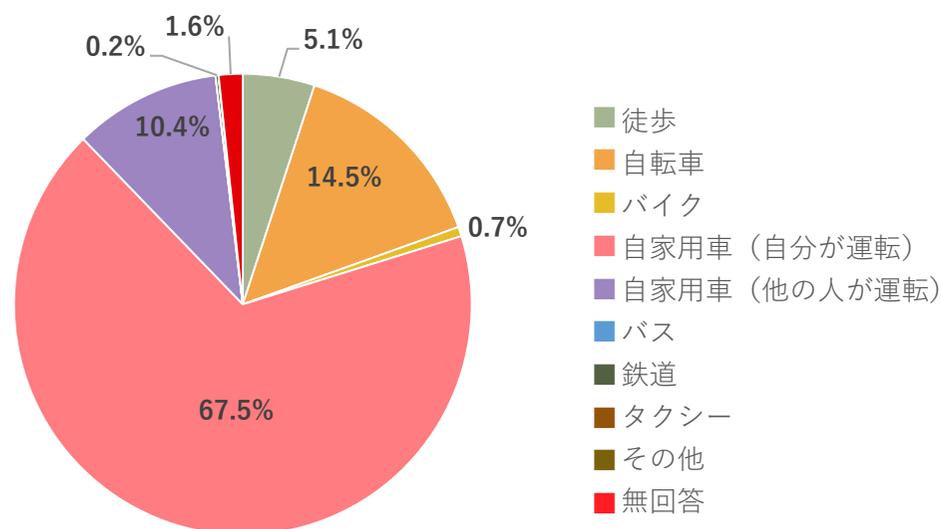
##### ■日用品の買い物場所

項目	回答数
近所の商店街	52
近所のスーパーや大型店舗	862
自宅から離れたスーパーや大型店舗	397
宅配サービス	16
その他	1
無回答	32
合計	1360



##### ■交通手段

項目	回答数
徒歩	69
自転車	197
バイク	9
自家用車（自分が運転）	918
自家用車（他人が運転）	141
バス	0
鉄道	3
タクシー	0
その他	0
無回答	23
合計	1360

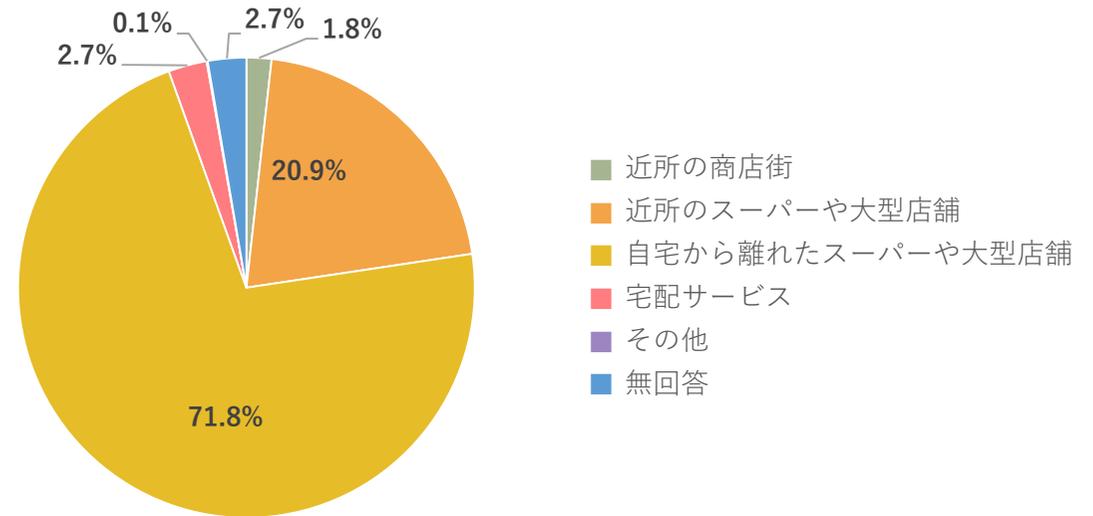


<日用品以外の買い物の場所と交通手段>

・日用品以外の買い物場所は、「自宅から離れたスーパーや大型店舗」(71.8%)が最も多くなっており、交通手段についても「自家用車」(自分で運転・他の人が運転の合計)(85.6%)となっています。

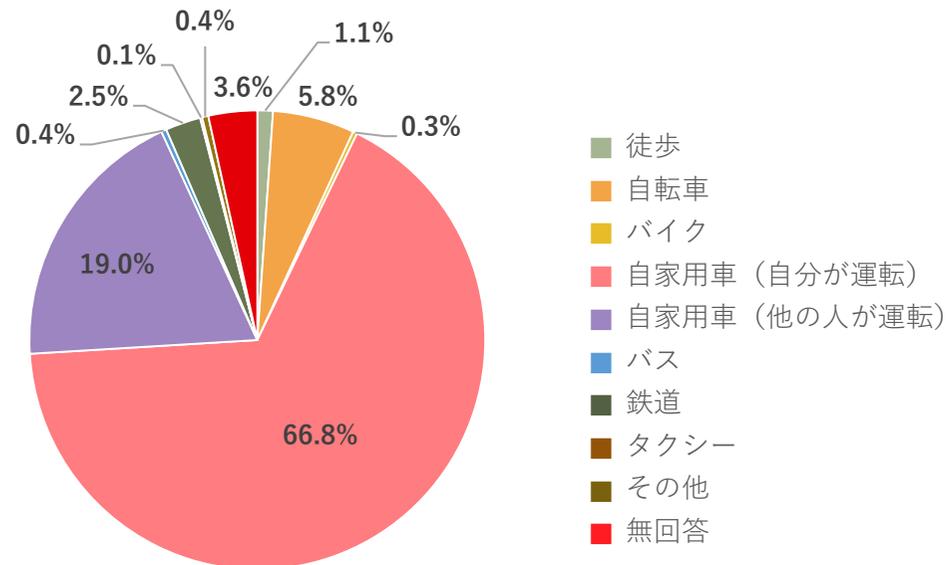
■日用品以外の買い物場所

項目	回答数
近所の商店街	24
近所のスーパーや大型店舗	284
自宅から離れたスーパーや大型店舗	977
宅配サービス	37
その他	1
無回答	37
合計	1360



■交通手段

項目	回答数
徒歩	15
自転車	79
バイク	4
自家用車(自分が運転)	909
自家用車(他人が運転)	259
バス	5
鉄道	34
タクシー	2
その他	6
無回答	47
合計	1360

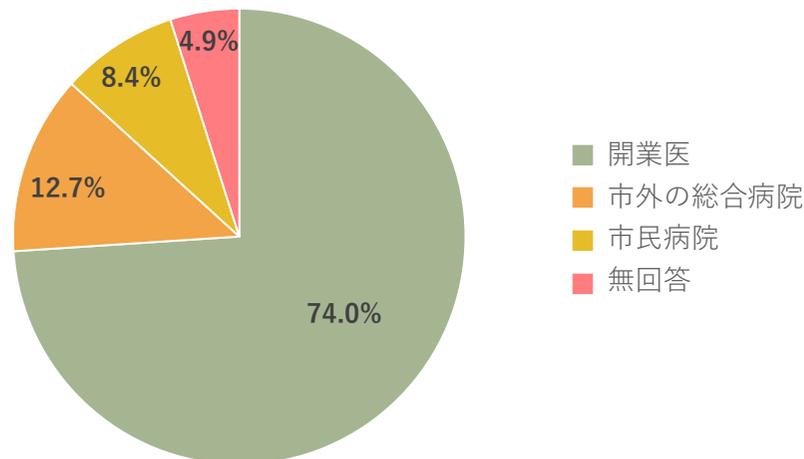


### <通院している場所と交通手段>

・通院先としては、日常的な通院では「開業医」（74.0%）を利用する傾向にあります。また、移動手段についても、「自家用車（自分で運転・他の人が運転の合計）」（72.1%）の傾向が高くなっています。

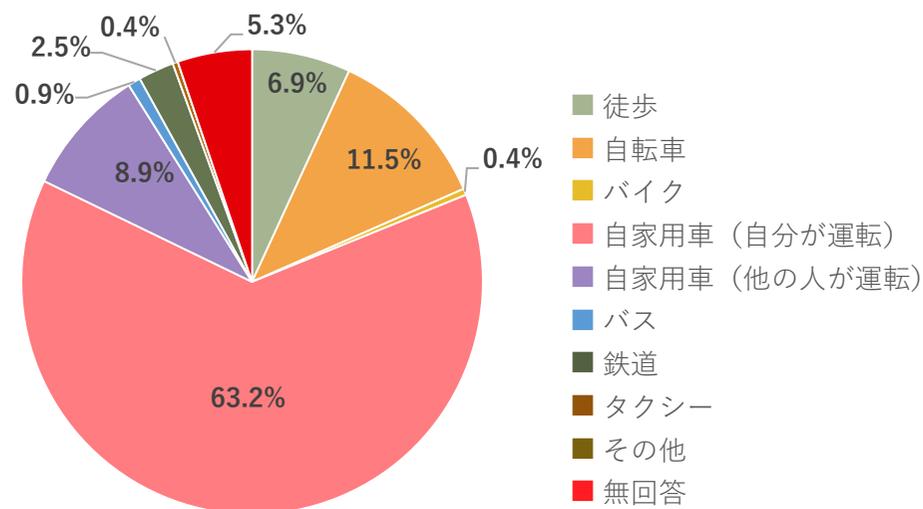
#### ■通院場所

項目	回答数
開業医	1006
市外の総合病院	173
市民病院	114
無回答	67
合計	1360



#### ■交通手段

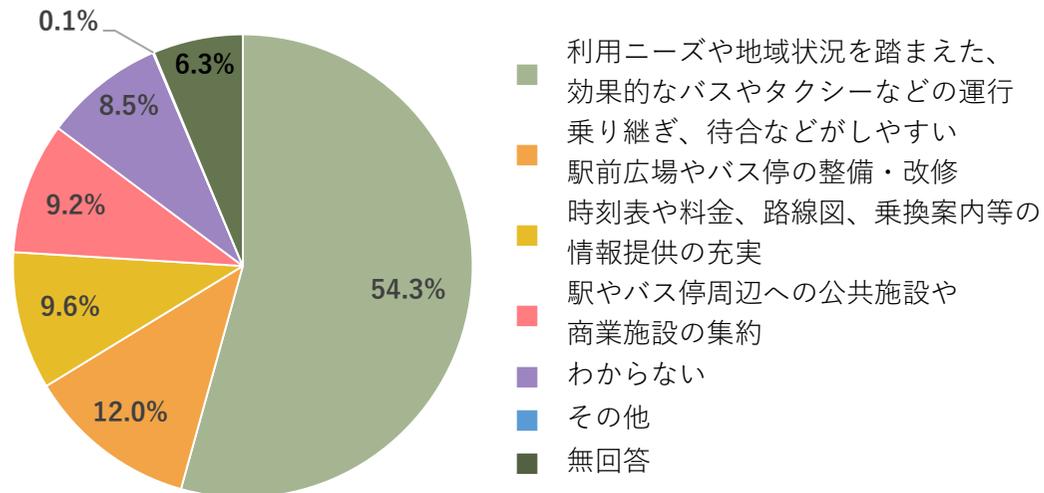
項目	回答数
徒歩	94
自転車	157
バイク	6
自家用車（自分が運転）	860
自家用車（他人が運転）	121
バス	12
鉄道	34
タクシー	5
その他	0
無回答	71
合計	1360



**問10** 誰もが円滑に公共交通を利用できるようにするために必要だと思う取り組み（単一回答）

・公共交通に関して必要だと思う取り組みとして、「利用ニーズや地域状況を踏まえた、効果的なバスやタクシーなどの運行」（54.3%）が最も多く、次いで「乗り継ぎ、待合などがしやすい駅前広場やバス停の整備・改修」（12.0%）となっています。

項目	回答数
利用ニーズや地域状況を踏まえた、効果的なバスやタクシーなどの運行	739
乗り継ぎ、待合などがしやすい駅前広場やバス停の整備・改修	163
時刻表や料金、路線図、乗換案内等の情報提供の充実	131
駅やバス停周辺への公共施設や商業施設の集約	125
わからない	115
その他	1
無回答	86
計	1360

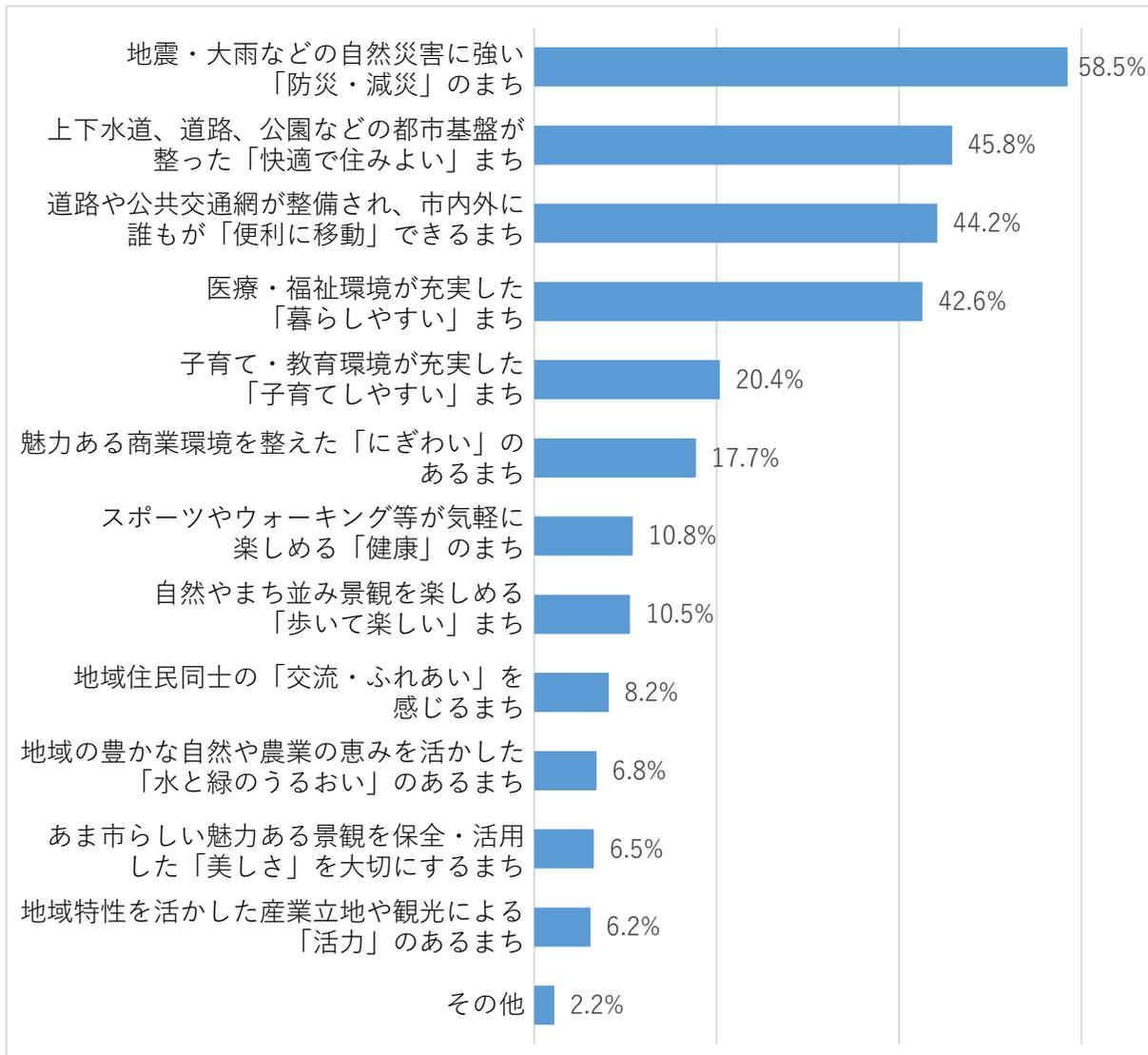


#### 【IV 今後のまちづくりについて】

##### 問11 お住まいの地域のまちづくりで進めていけば良いと思うこと（3つまで回答）

・今後のまちづくりとして、あま市の地域特性上「地震・大雨などの自然災害に強い「防災・減災」のまち」（58.5%）が最も多く、次いで「上下水道、道路、公園などの都市基盤が整った「快適で住みよい」まち」（45.8%）となっています。

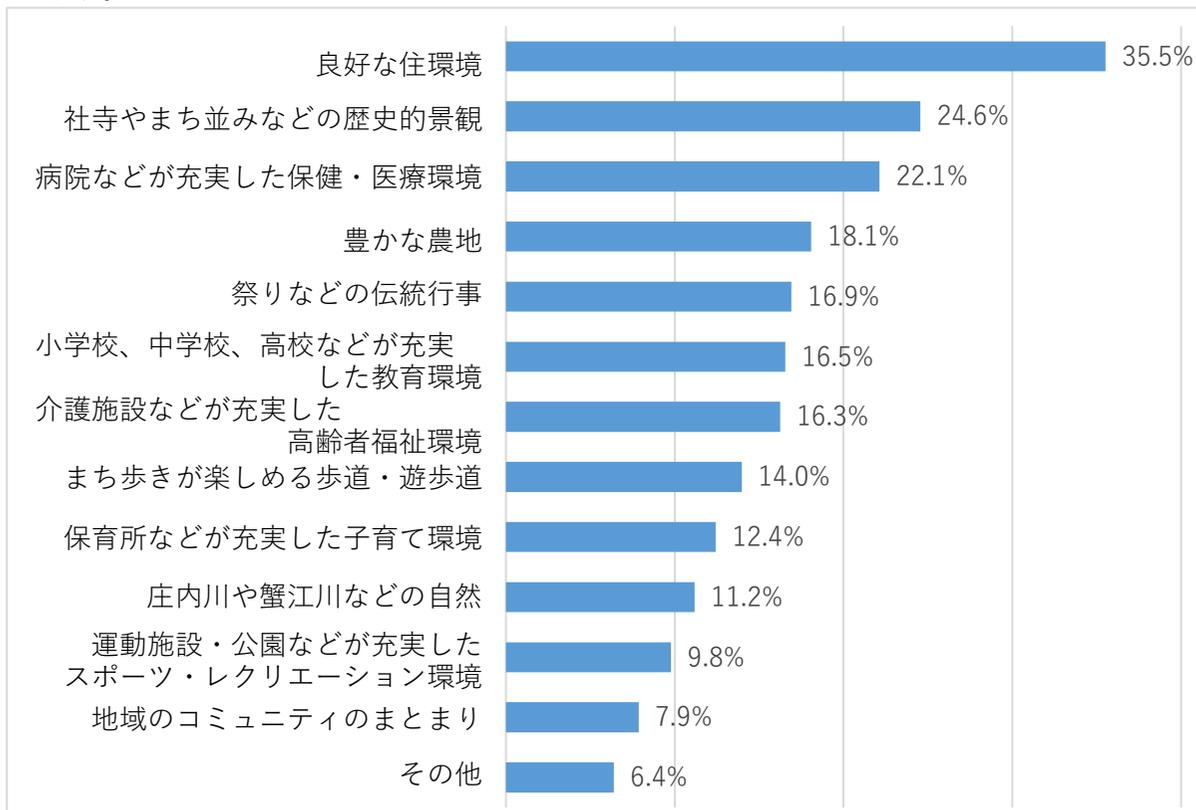
項目	回答数
地震・大雨などの自然災害に強い「防災・減災」のまち	795
上下水道、道路、公園などの都市基盤が整った「快適で住みよい」まち	623
道路や公共交通網が整備され、市内外に誰もが「便利に移動」できるまち	601
医療・福祉環境が充実した「暮らしやすい」まち	579
子育て・教育環境が充実した「子育てしやすい」まち	277
魅力ある商業環境を整えた「にぎわい」のあるまち	241
スポーツやウォーキング等が気軽に楽しめる「健康」のまち	147
自然やまち並み景観を楽しめる「歩いて楽しい」まち	143
地域住民同士の「交流・ふれあい」を感じるまち	111
地域の豊かな自然や農業の恵みを活かした「水と緑のうるおい」のあるまち	93
あま市らしい魅力ある景観を保全・活用した「美しさ」を大切にするまち	89
地域特性を活かした産業立地や観光による「活力」のあるまち	84
その他	30
計	3813



**問12** お住まいの地域で、誇りを感じ、地域のまちづくりに活用できるもの（3つまで回答）

・市民が誇りを感じているものとして、「良好な住環境」（35.5%）や「社寺やまち並みなどの歴史的景観」（24.6%）、「病院などが充実した保健・医療環境」（22.1%）が挙げられている一方、「地域のコミュニティのまとまり」（7.9%）や「運動施設・公園などが充実したスポーツ・レクリエーション環境」（9.8%）は低い傾向となっています。

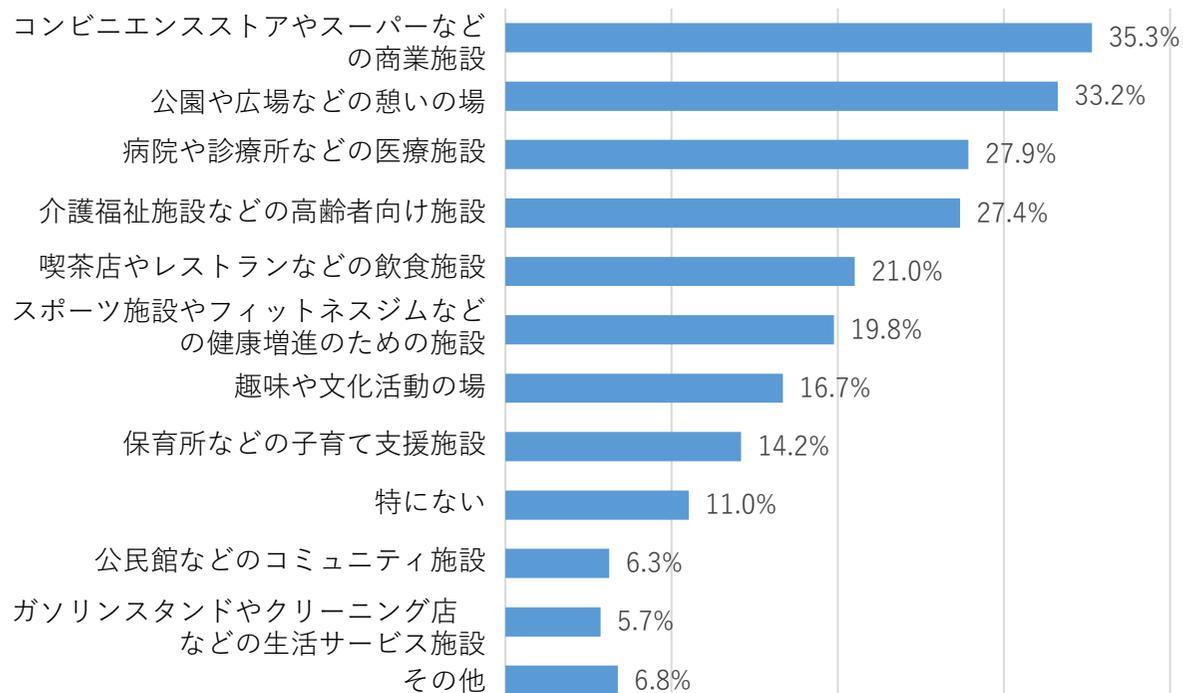
項目	回答数
良好な住環境	483
社寺やまち並みなどの歴史的景観	334
病院などが充実した保健・医療環境	301
豊かな農地	246
祭りなどの伝統行事	230
小学校、中学校、高校などが充実した教育環境	225
介護施設などが充実した高齢者福祉環境	221
まち歩きが楽しめる歩道・遊歩道	190
保育所などが充実した子育て環境	169
庄内川や蟹江川などの自然	152
運動施設・公園などが充実したスポーツ・レクリエーション環境	133
地域のコミュニティのまとまり	107
その他	87
計	2878



**問13** お住まいの地域に、必要だと思う施設（3つまで回答）

・地域に必要なと思う施設として、「コンビニエンスストアやスーパーなどの商業施設」（35.3%）や「公園や広場などの憩いの場」（33.2%）、「病院や診療所などの医療施設」（27.9%）など、市民が日常的に利用する施設が求められています。

項目	回答数
コンビニエンスストアやスーパーなどの商業施設	480
公園や広場などの憩いの場	452
病院や診療所などの医療施設	379
介護福祉施設などの高齢者向け施設	372
喫茶店やレストランなどの飲食施設	286
スポーツ施設やフィットネスジムなどの健康増進のための施設	269
趣味や文化活動の場	227
保育所などの子育て支援施設	193
特にない	150
公民館などのコミュニティ施設	85
ガソリンスタンドやクリーニング店などの生活サービス施設	78
その他	92
計	3063

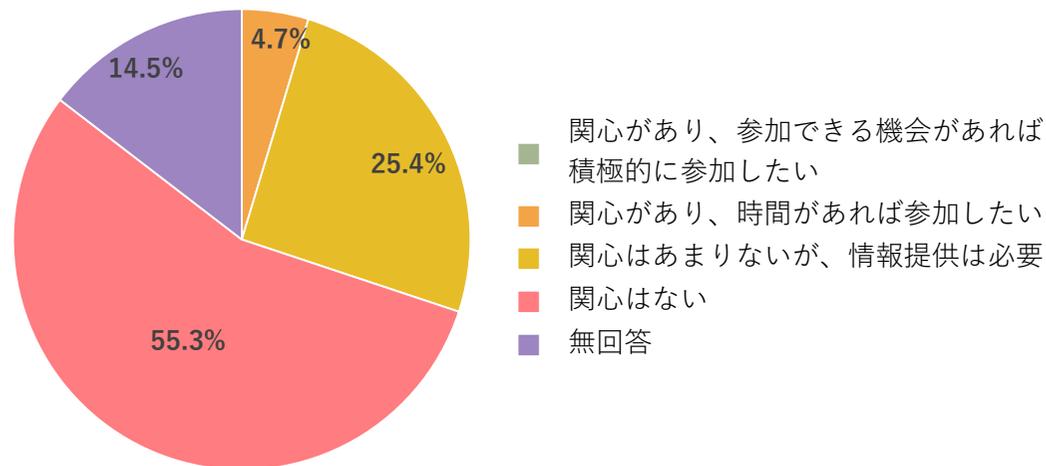


【V まちづくりへの参加について】

問14 「あま市のまちづくり」に対する関心（単一回答）

・まちづくりに対する関心度として、「積極的に参加したい・時間があれば参加したい」と回答した市民は4.7%に留まっており、半数以上の市民が「関心はない」と回答しています。

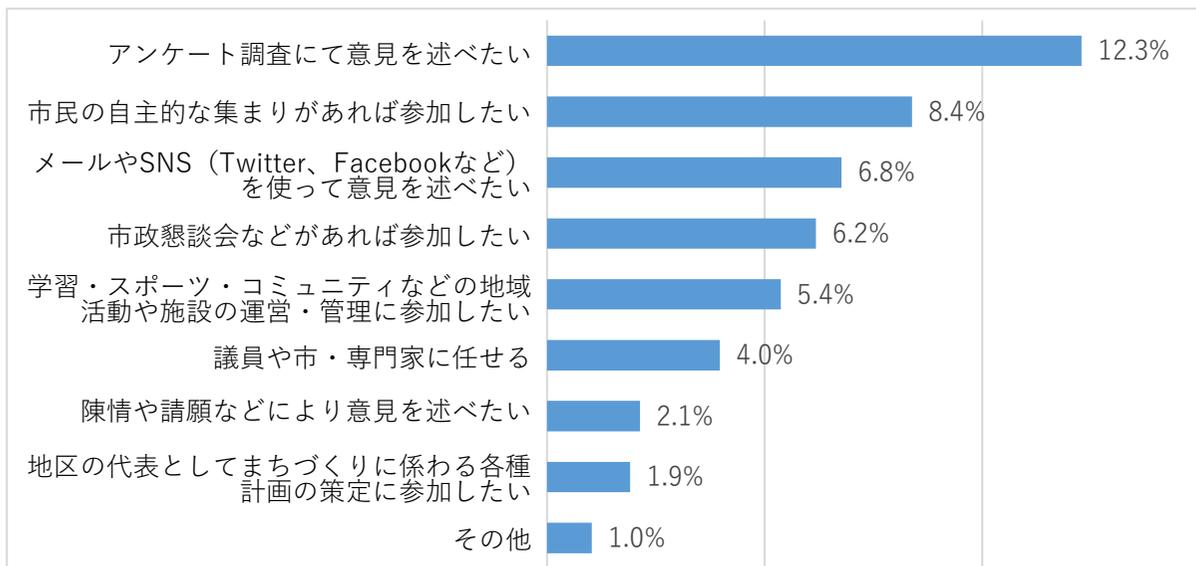
項目	回答数
関心があり、参加できる機会があれば積極的に参加したい	0
関心があり、時間があれば参加したい	64
関心はあまりないが、情報提供は必要	345
関心はない	752
無回答	199
計	1360



問15 「あま市のまちづくり」への参加方法（複数回答）

・まちづくりへの参加方法として、「アンケート調査による参加」（12.3%）が最も多く、次いで「市民の自主的な集まりがあれば参加したい」（8.4%）となっていました。また、近年の情報社会の進展により、「メールやSNSの利用による参加」（6.8%）と回答された市民もいました。

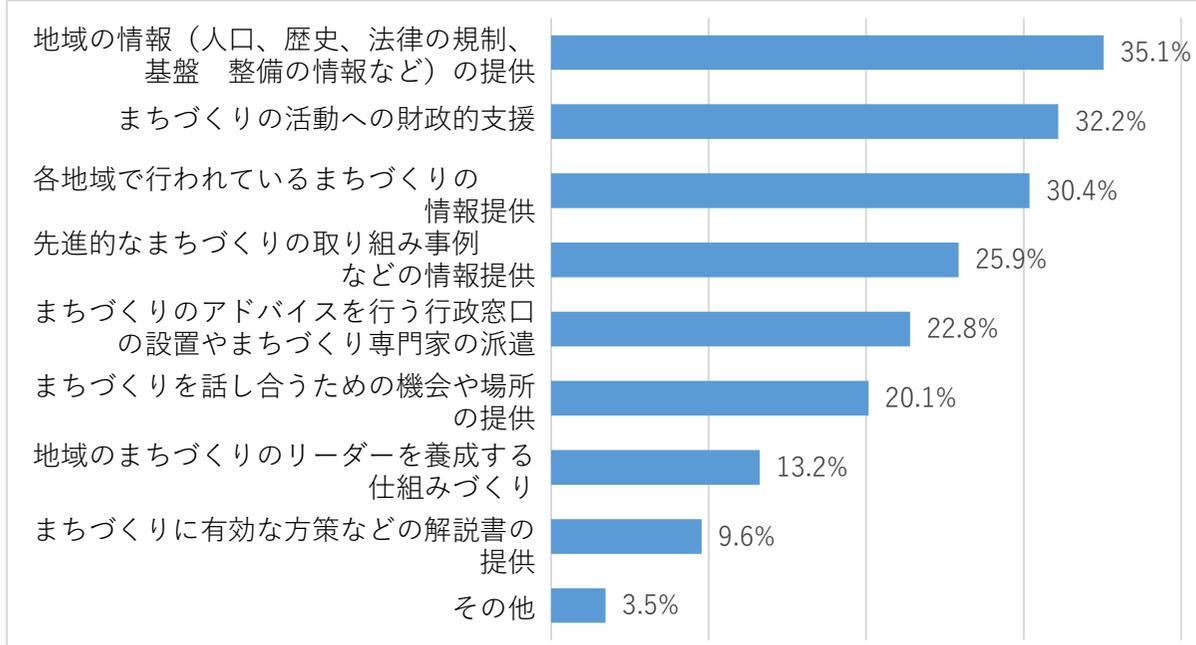
項目	回答数
アンケート調査にて意見を述べたい	167
市民の自主的な集まりがあれば参加したい	114
メールやSNS（Twitter、Facebookなど）を使って意見を述べたい	92
市政懇談会などがあれば参加したい	84
学習・スポーツ・コミュニティなどの地域活動や施設の運営・管理に参加したい	73
議員や市・専門家に任せる	54
陳情や請願などにより意見を述べたい	29
地区の代表としてまちづくりに係わる各種計画の策定に参加したい	26
その他	14
計	653



**問16 市民協働のまちづくりを進めるために、行政が重点的に行うべき取り組み（3つまで回答）**

・重点的に行うべき取り組みとして、「地域の情報の提供」（35.1%）や「まちづくりの活動への財政的支援」（32.2%）が挙げられており、特に情報提供としては、「各地域で行われているまちづくり」（30.4%）や「先進的な取り組み事例」（25.9%）なども求められています。

項目	回答数
地域の情報（人口、歴史、法律の規制、基盤整備の情報など）の提供	477
まちづくりの活動への財政的支援	438
各地域で行われているまちづくりの情報提供	413
先進的なまちづくりの取り組み事例などの情報提供	352
まちづくりのアドバイスを行う行政窓口の設置やまちづくり専門家の派遣	310
まちづくりを話し合うための機会や場所の提供	274
地域のまちづくりのリーダーを養成する仕組みづくり	180
まちづくりに有効な方策などの解説書の提供	130
その他	47
計	2621



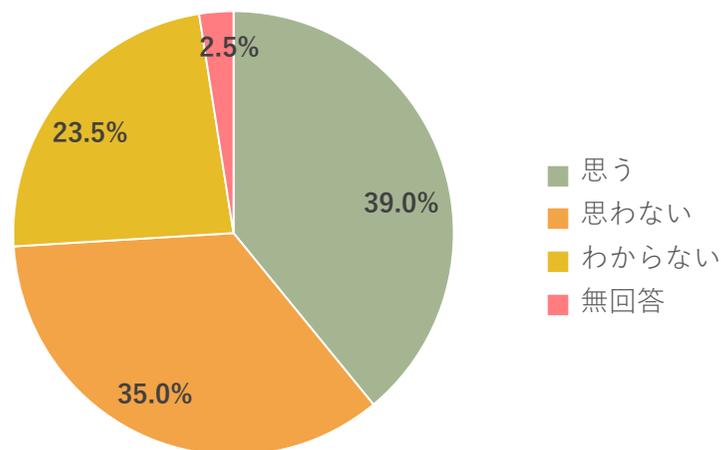
**(3) 緑の基本計画**

**【I あま市の緑について】**

**問1 あま市は「緑豊かなまち」だと思いますか。（単一回答）**

・「緑豊かなまち」だと思う人・思わない人はどちらも約40%程度となっています。

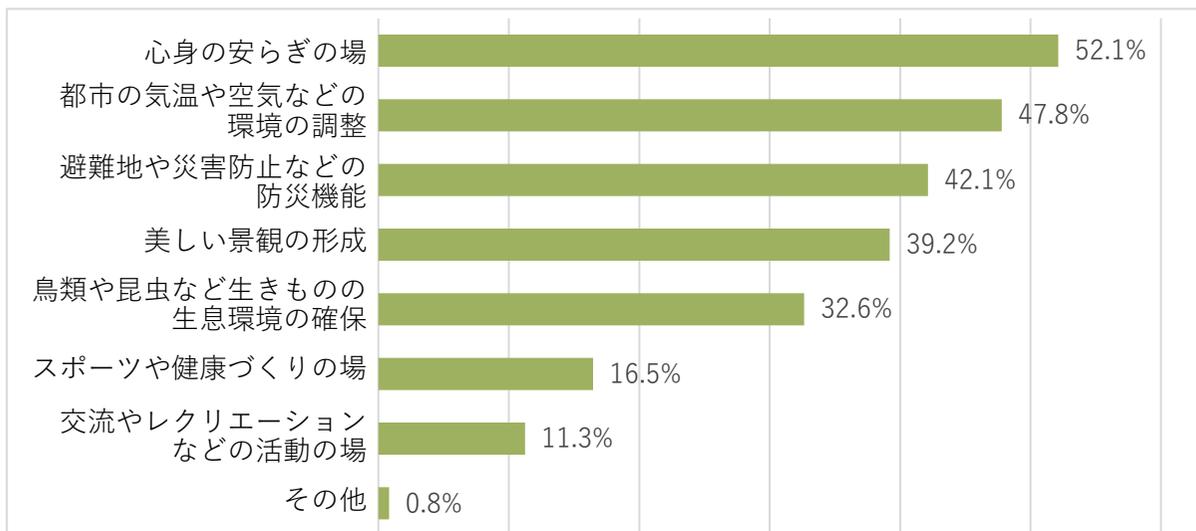
項目	回答数
思う	531
思わない	476
わからない	319
無回答	34
計	1360



**問2 緑が持つさまざまな役割や機能のうち、特に重要と考えるもの（3つまで回答）**

・重要だと思う機能として、「心身の安らぎの場」(52.1%)が最も多く、次いで「都市の気温や空気などの環境の調整」(47.8%)、「避難地や災害防止などの防災機能」(42.1%)となっています。

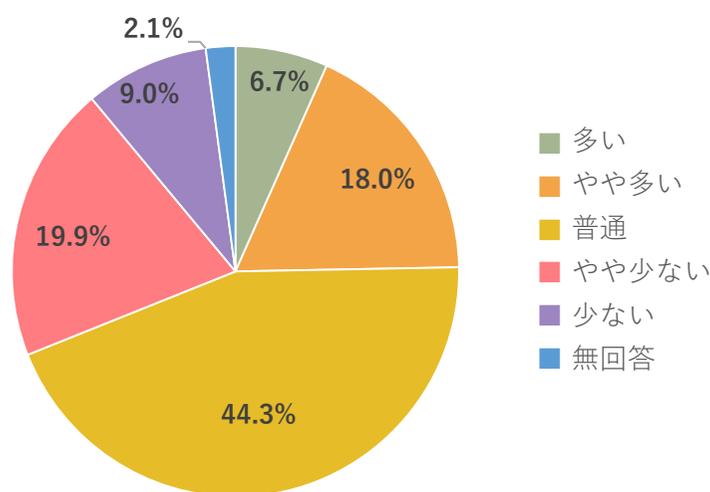
項目	回答数
心身の安らぎの場	709
都市の気温や空気などの環境の調整	650
避難地や災害防止などの防災機能	573
美しい景観の形成	533
鳥類や昆虫など生きものの生息環境の確保	444
スポーツや健康づくりの場	224
交流やレクリエーションなどの活動の場	153
その他	11
計	3297



**問3 お住まいの地域の緑の量**

・地域の緑の量として、「多い・やや多い」が24.7%に対し、「やや少ない・少ない」が28.9%となっていることから、市民の緑に対する意識は低い傾向にあります。

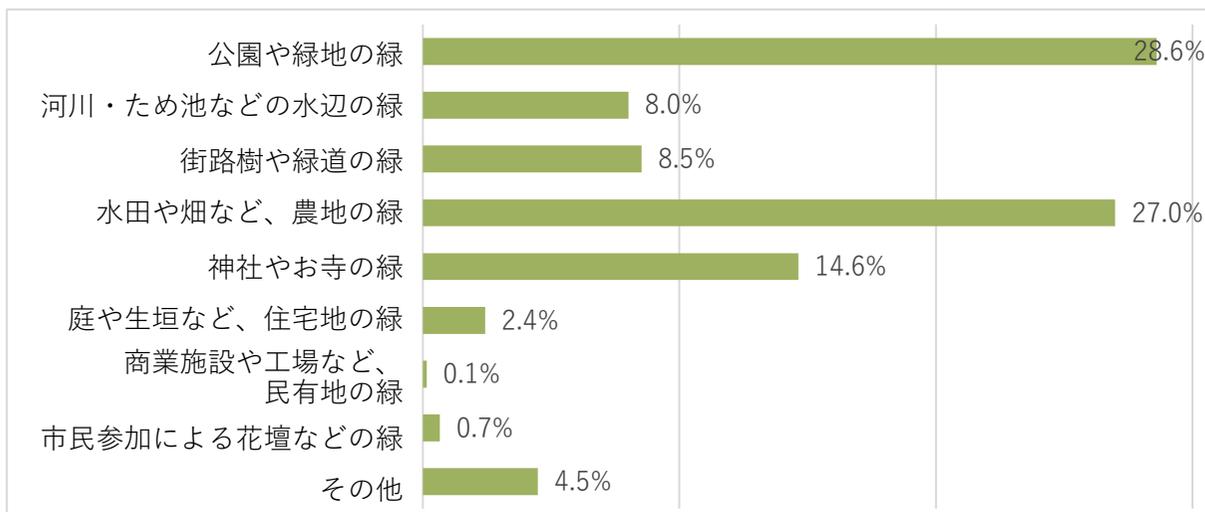
項目	回答数
多い	91
やや多い	245
普通	602
やや少ない	271
少ない	122
無回答	29
計	1360



#### 問4 お住まいの地域の緑で、気に入っている緑（3つまで回答）

・市民が気に入っている緑として、「公園や緑地の緑」（28.6%）、「水田や畑など、農地の緑」（27.0%）、「神社やお寺の緑」（14.6%）が挙げられています。

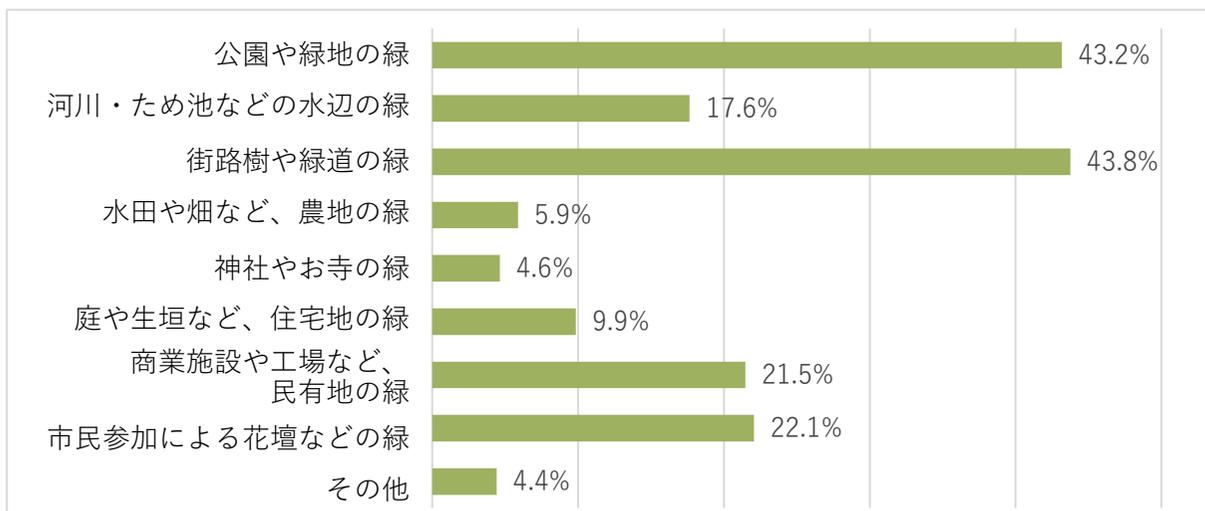
項目	回答数
公園や緑地の緑	389
河川・ため池などの水辺の緑	109
街路樹や緑道の緑	116
水田や畑など、農地の緑	367
神社やお寺の緑	199
庭や生垣など、住宅地の緑	33
商業施設や工場など、民有地の緑	2
市民参加による花壇などの緑	9
その他	61
計	1285



#### 問5 お住まいの地域で不足していると思う緑（3つまで回答）

・不足している緑として、「街路樹や緑道の緑」（43.8%）や「公園や緑地の緑」（43.2%）が挙げられており、公共緑地が不足していると感じている市民が多い傾向にあります。また、「市民参加による花壇などの緑」（22.1%）や「商業施設や工場など、民有地の緑」（21.5%）も挙げられていることから、都市的な緑が不足している傾向にあります。

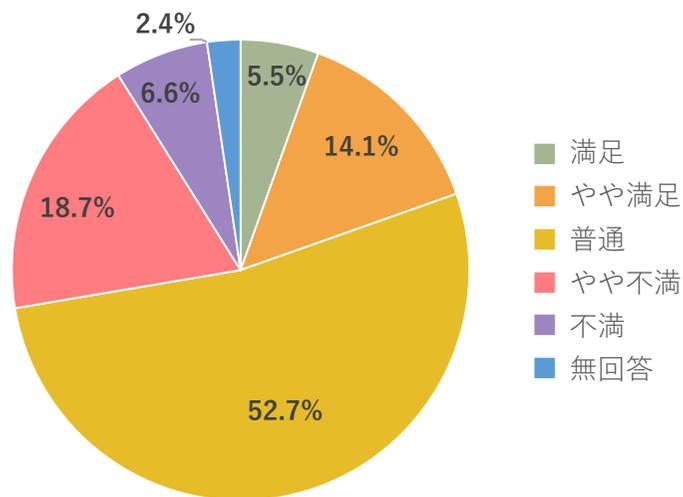
項目	回答数
公園や緑地の緑	587
河川・ため池などの水辺の緑	240
街路樹や緑道の緑	595
水田や畑など、農地の緑	80
神社やお寺の緑	63
庭や生垣など、住宅地の緑	134
商業施設や工場など、民有地の緑	292
市民参加による花壇などの緑	300
その他	60
計	2351



**問6 お住まいの近くの緑の満足度（単一回答）**

・緑に対する満足度として、「満足・やや満足」が19.6%に対し、「やや不満・不満」は25.3%となっていることから、満足よりも不満に感じている市民がやや多い傾向となっています。

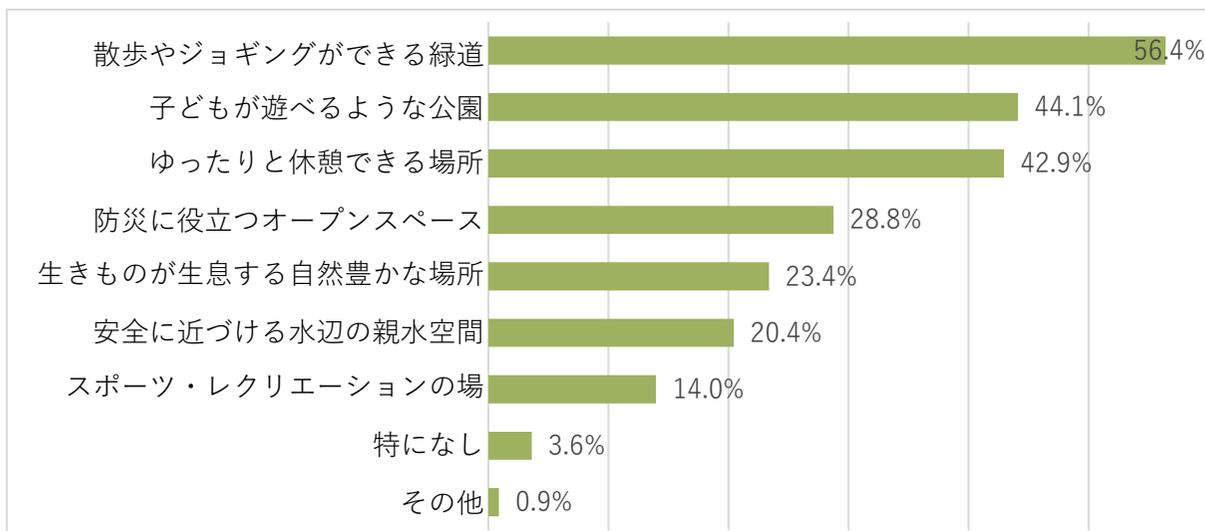
項目	回答数
満足	75
やや満足	192
普通	717
やや不満	254
不満	90
無回答	32
計	1360



**問7 身近な場所にあれば良いと思う緑の空間（3つまで回答）**

・身近な緑の空間として、「散歩やジョギングができる緑道」（56.4%）が最も多く、次いで「子どもが遊べるような公園」（44.1%）、「ゆったりと休憩できる場所」（42.9%）が求められています。

項目	回答数
散歩やジョギングができる 緑道	767
子どもが遊べるような公園	600
ゆったりと休憩できる場所	584
防災に役立つオープンスペース	391
生きものが生息する自然豊かな場所	318
安全に近づける水辺の親水空間	278
スポーツ・レクリエーションの場	190
特になし	49
その他	12
計	3189

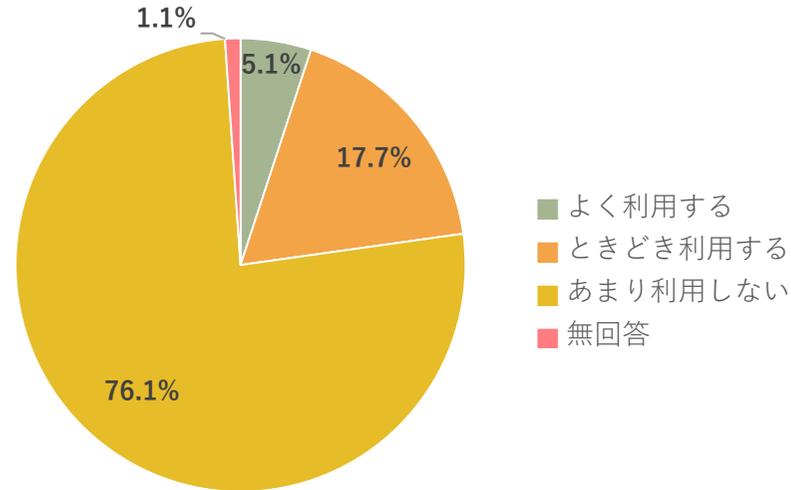


【Ⅱ あま市の公園施設について】

問8 市内の公園の利用頻度（単一回答）

・市民の76.1%が公園を「あまり利用しない」と回答しています。

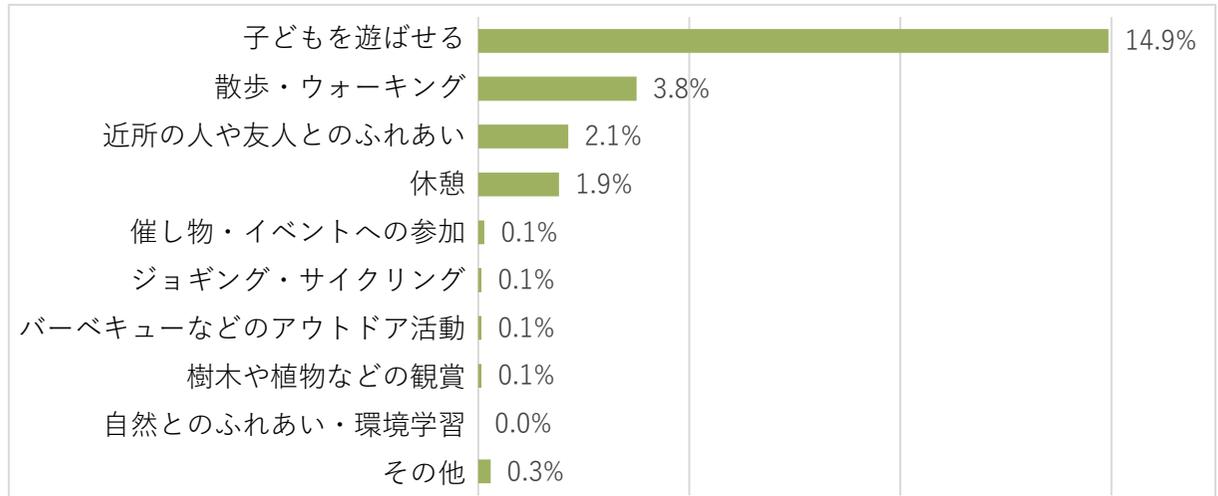
項目	回答数
よく利用する	69
ときどき利用する	241
あまり利用しない	1035
無回答	15
計	1360



問9 （問8で「1. よく利用する」「2. ときどき利用する」と回答した方）市内の公園を利用する主な目的（3つまで回答）

・公園を利用する主な理由として、「子どもを遊ばせる」（14.9%）が最も多く、次いで「散歩・ウォーキング」（3.8%）が挙げられており、子育て世代を中心とした利用が多いことが考えられます。

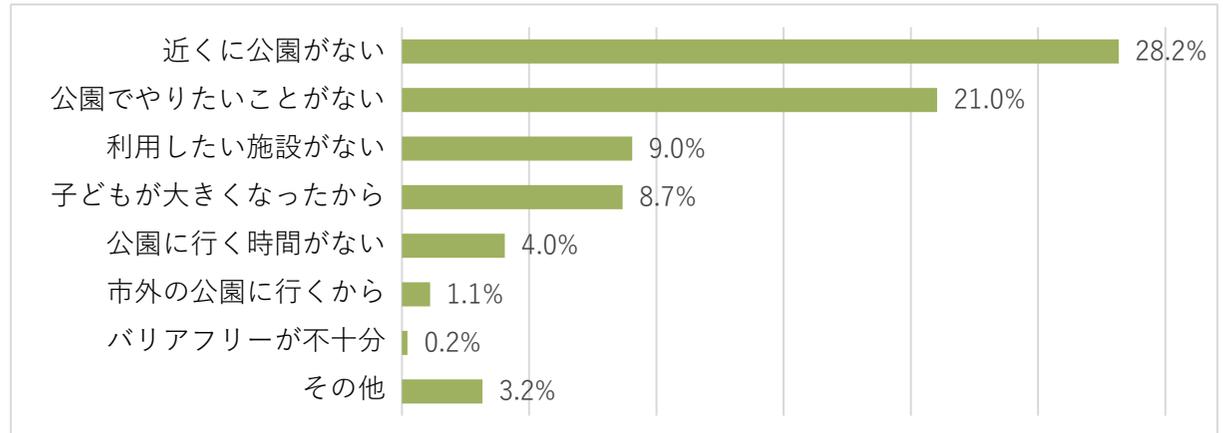
項目	回答数
子どもを遊ばせる	203
散歩・ウォーキング	51
近所の人や友人とのふれあい	29
休憩	26
催し物・イベントへの参加	2
ジョギング・サイクリング	1
バーベキューなどのアウトドア活動	1
樹木や植物などの観賞	1
自然とのふれあい・環境学習	0
その他	4
計	318



**問10 (問8で「3. あまり利用しない」と回答した方) 市内の公園を利用しない理由 (3つまで回答)**

・公園を利用しない理由として、「近くに公園がない」(28.2%)が最も多く、次いで「公園でやりたいことがない」(21.0%)が挙げられており、公園の量・質の面からも利用しない理由が挙げられています。

項目	回答数
近くに公園がない	383
公園でやりたいことがない	286
利用したい施設がない	123
子どもが大きくなったから	118
公園に行く時間がない	55
市外の公園に行くから	15
バリアフリーが不十分	3
その他	43
計	1026



**問11 よく利用する公園 (自由記述)**

<市内(上位10ヶ所)>

- ・市内でよく利用する公園として挙げられた都市公園は森ヶ丘公園(50人)が最も多く、次いで二ツ寺親水公園(14人)、木田郷西公園(13人)となっています。
- ・都市公園以外では、七宝焼アートヴィレッジ(35人)や文化の杜(美和文化会館)(7人)、上萱津コミュニティ防災センター(5人)など、公共施設に併設する緑地や広場が挙げられています。

<市外(上位20ヶ所)>

- ・市外でよく利用する公園として挙げられた公園は戸田川緑地公園(71人)が最も多く、次いで国営木曾三川公園(43人)、庄内緑地公園(35人)となっています。
- ・よく利用する公園の所在地は、名古屋市や津島市、稲沢市などの隣接市町が多くなっています。

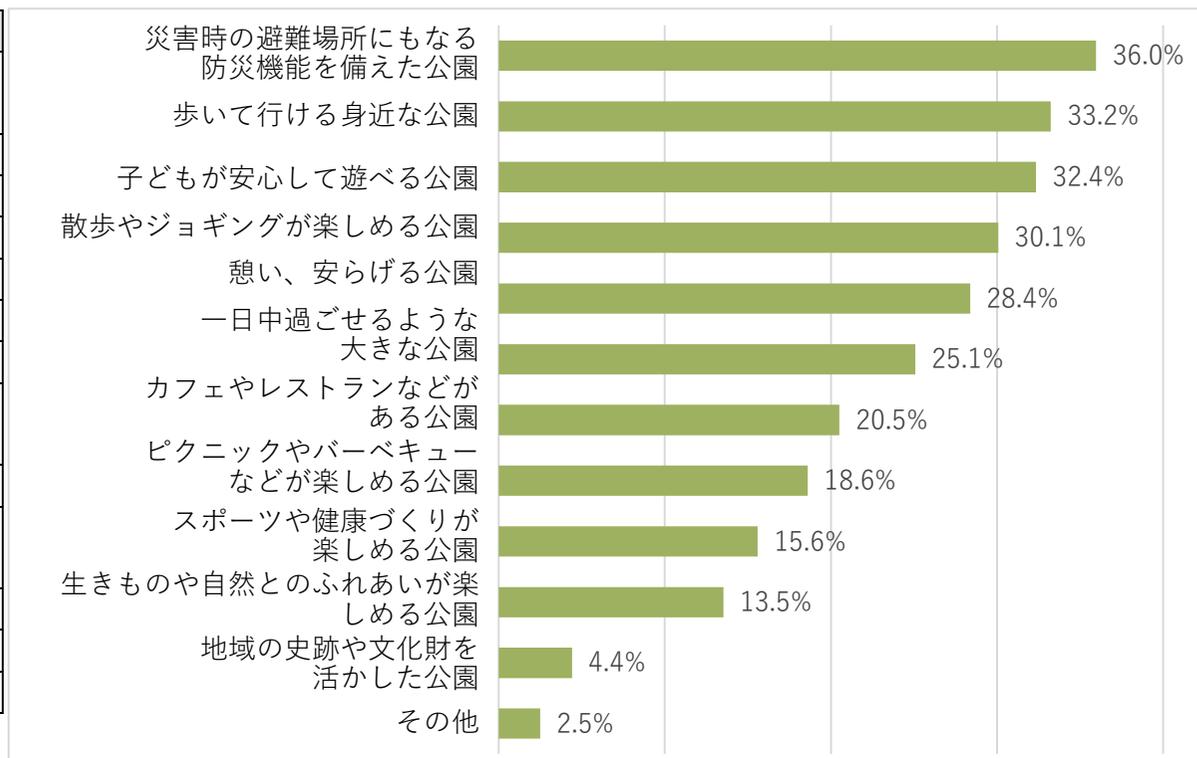
市内(上位10ヶ所)	回答数
森ヶ丘公園	50
七宝焼アートヴィレッジ	35
二ツ寺親水公園	14
木田郷西公園	13
小路1号公園(旧ふれあい公園)	12
リバーサイドガーデン	7
文化の杜(美和文化会館)	7
小路2号公園(旧なかよし公園)	6
池端ちびっこ広場	6
上萱津コミュニティ防災センター	5

市外(上位20ヶ所)	回答数
戸田川緑地公園(名古屋市)	71
国営木曾三川公園(愛知県・三重県・岐阜県)	43
庄内緑地公園(名古屋市)	35
海南こどもの国(弥富市)	33
天王川公園(津島市)	27
名城公園(名古屋市)	22
祖父江緑地公園(稲沢市)	19
中村公園(名古屋市)	16
鶴舞公園(名古屋市)	10
津島東公園(津島市)	10
稲沢公園(稲沢市)	7
大高緑地公園(名古屋市)	5
荒子川公園(名古屋市)	5
モリコロパーク(長久手市)	5
養老公園(養老町)	5
清洲公園(清須市)	5
富田公園(名古屋市)	4
県立愛知県森林公園(名古屋市・尾張旭市)	4
愛知県下水道科学館(稲沢市)	4
佐屋川創郷公園(蟹江町)	3
込野農村広場(稲沢市)	3

**問12 市内にあれば良いと思う公園（3つまで回答）**

・求められる公園として、「災害時の避難場所にもなる防災機能を備えた公園」（36.0%）や「歩いて行ける身近な公園」（33.2%）、「子どもが安心して遊べる公園」（32.4%）などが挙げられています。

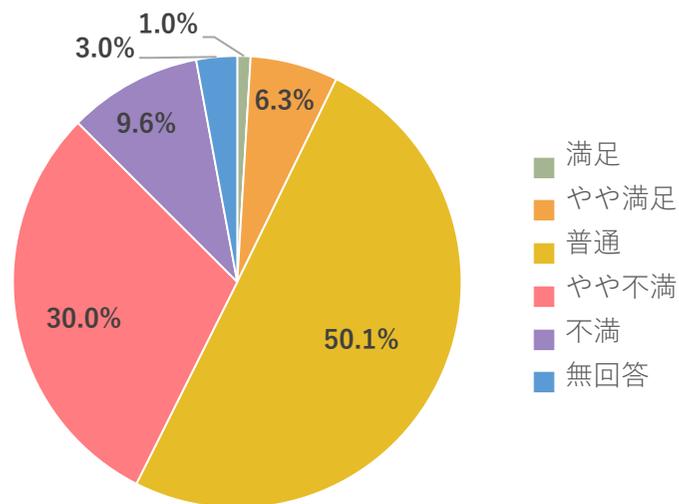
項目	回答数
災害時の避難場所にもなる防災機能を備えた公園	489
歩いて行ける身近な公園	452
子どもが安心して遊べる公園	440
散歩やジョギングが楽しめる公園	409
憩い、安らげる公園	386
一日中過ごせるような大きな公園	341
カフェやレストランなどがある公園	279
ピクニックやバーベキューなどが楽しめる公園	253
スポーツや健康づくりが楽しめる公園	212
生きものや自然とのふれあいが楽しめる公園	184
地域の史跡や文化財を活かした公園	60
その他	34
計	3539



**問13 身近な公園や緑道の維持管理に対する満足度（単一回答）**

・公園や緑道の維持管理の満足度について、「満足・やや満足」が7.3%に対し、「不満・やや不満」が39.6%であることから、満足よりも不満に感じている市民が多い傾向にあります。

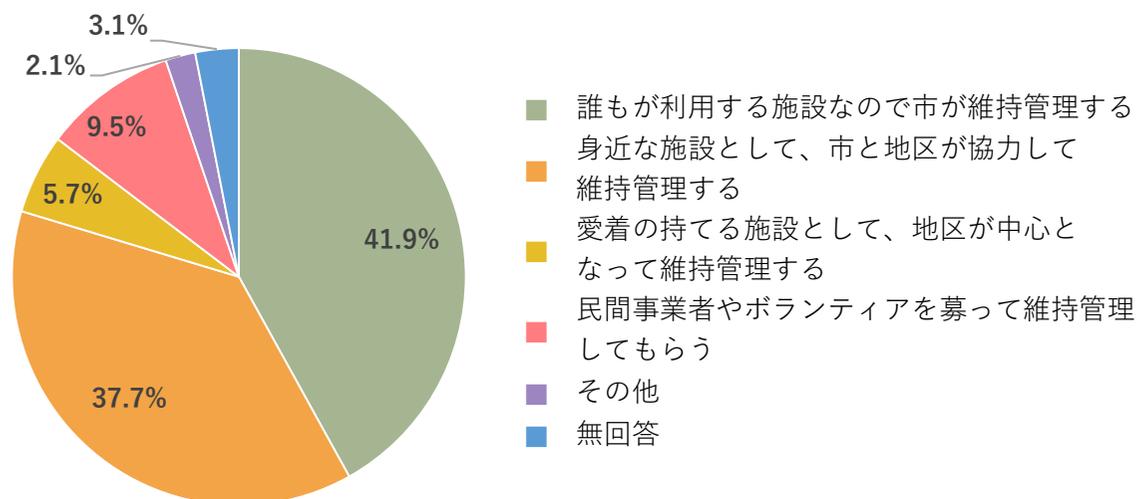
項目	回答数
満足	13
やや満足	86
普通	682
やや不満	408
不満	131
無回答	40
計	1360



**問14 今後の身近な公園や緑道の維持管理（単一回答）**

・今後の維持管理の方向性として、「市が維持管理する」（41.9%）が約42%と最も多く、次いで「市と地区が協力して維持管理する」（37.7%）となっています。また、行政による維持管理ではなく、「民間事業者やボランティアを募って維持管理してもらう」（9.5%）といった新たな維持管理方法も挙げられています。

項目	回答数
誰もが利用する施設なので市が維持管理する	570
身近な施設として、市と地区が協力して維持管理する	513
愛着の持てる施設として、地区が中心となって維持管理する	77
民間事業者やボランティアを募って維持管理してもらう	129
その他	29
無回答	42
計	1360

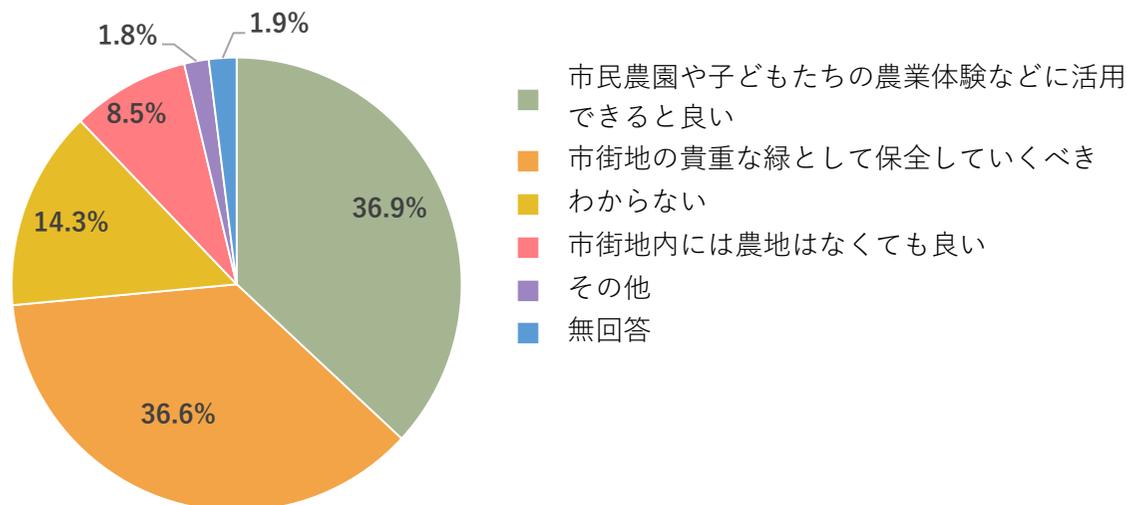


### 【Ⅲ あま市の農地について】

#### 問15 今後の市内の農地について（単一回答）

・農地のあり方について、「農業体験などに活用できると良い」（36.9%）、「保全していくべき」（36.6%）となっていることから、全体の約7割の市民が農地の保全及び活用を望んでいる傾向にあります。

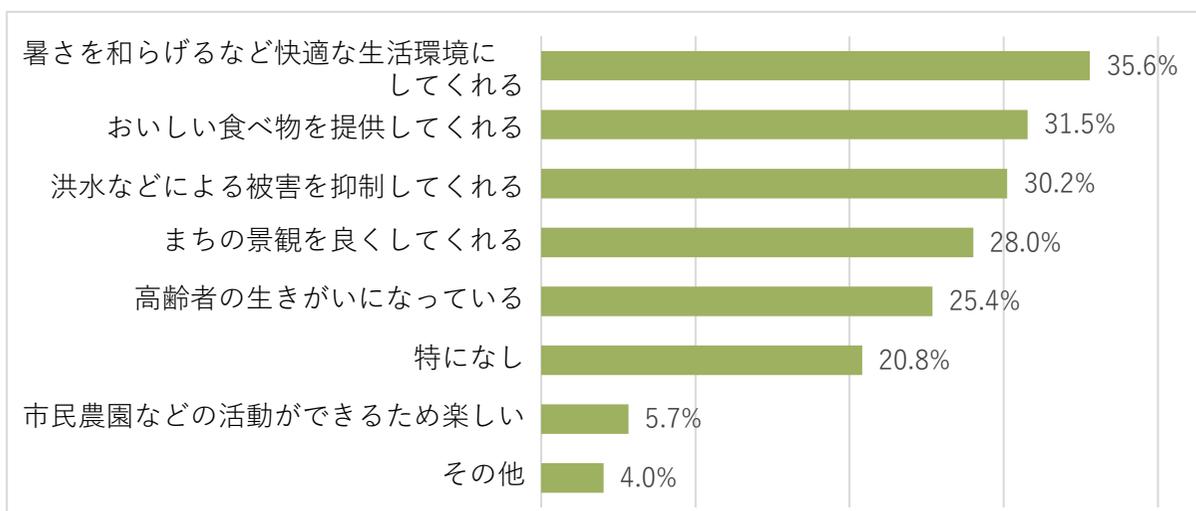
項目	回答数
市民農園や子どもたちの農業体験などに活用できると良い	502
市街地の貴重な緑として保全していくべき	498
わからない	194
市街地内には農地はなくても良い	115
その他	24
無回答	27
計	1360



#### 問16 身近な農地のイメージ（3つまで回答）

・農地に対して、暑さの緩和や洪水の被害抑制といった、環境面・防災面での働きを担うイメージが持たれている他、食糧生産の場や高齢者の生きがいといった面でのイメージも持たれています。

項目	回答数
暑さを和らげるなど快適な生活環境にしてくれる	484
おいしい食べ物を提供してくれる	429
洪水などによる被害を抑制してくれる	411
まちの景観を良くしてくれる	381
高齢者の生きがいになっている	345
特になし	283
市民農園などの活動ができるため楽しい	77
その他	55
計	2465

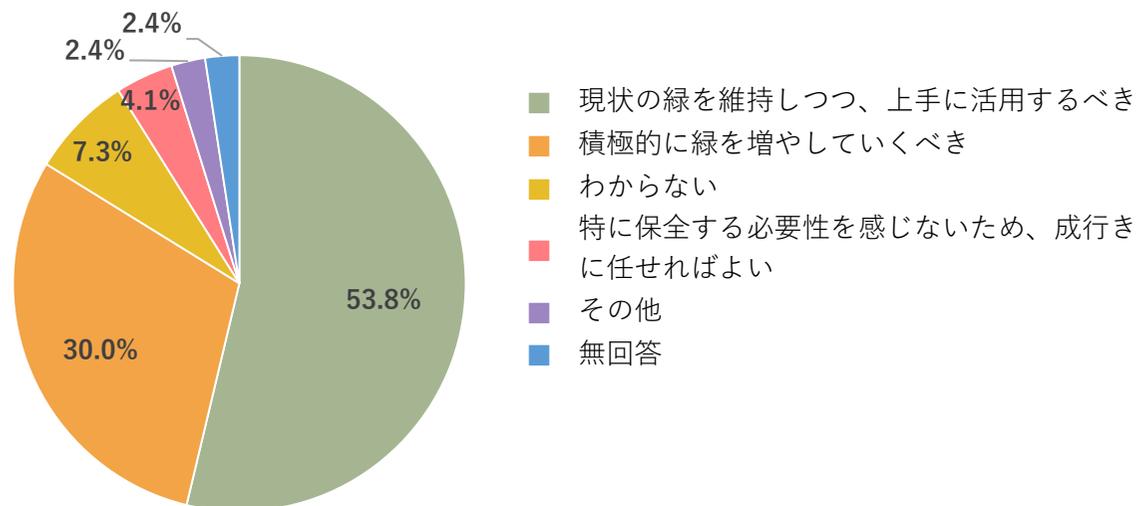


【IV あま市の緑に関する取り組みについて】

問17 今後の市全体の緑に対する取り組み（単一回答）

・今後の緑に対する取り組みとして、「現状の緑を維持しつつ、上手に活用すべき」（53.8%）が最も多く、次いで「積極的に緑を増やしていくべき」（30.0%）となっており、緑に対する取り組みについて、前向きに捉えている傾向にあります。

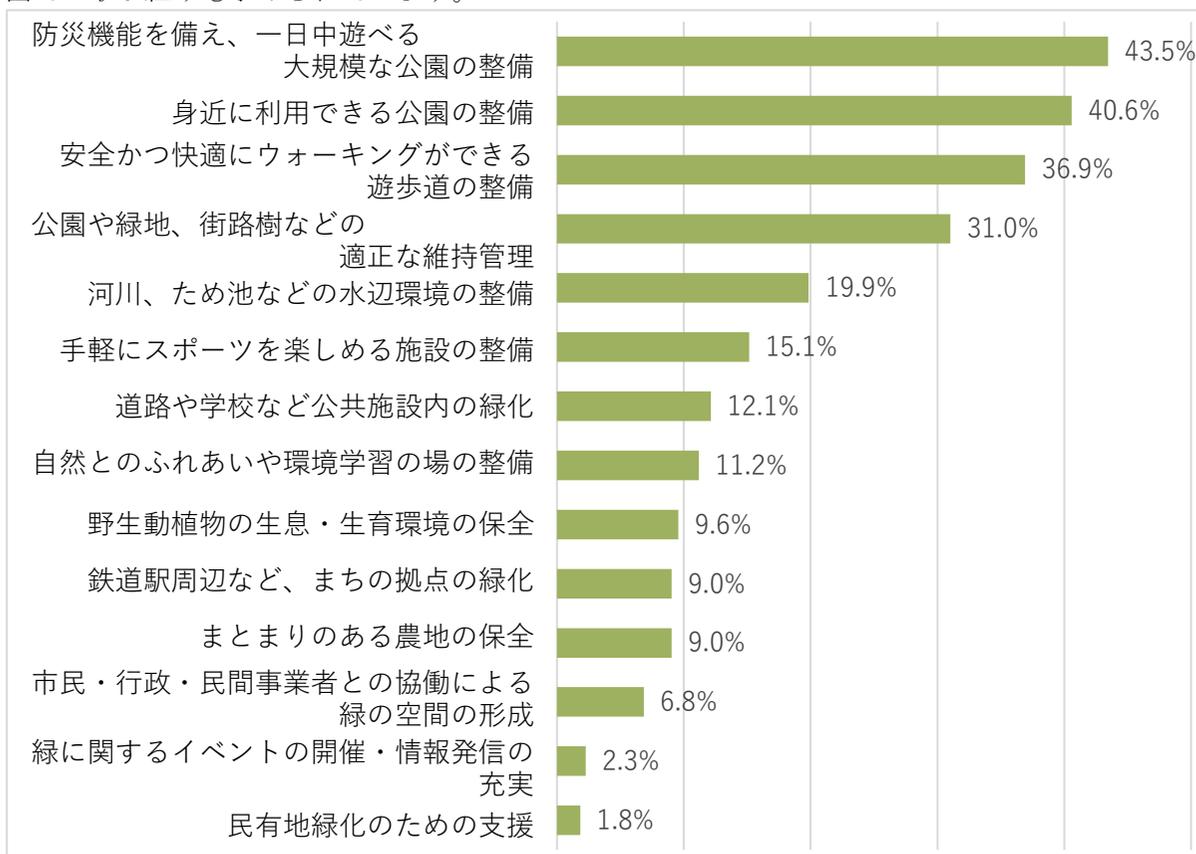
項目	回答数
現状の緑を維持しつつ、上手に活用すべき	731
積極的に緑を増やしていくべき	408
わからない	99
特に保全する必要性を感じないため、成行きに任せればよい	56
その他	33
無回答	33
計	1360



**問18 緑のまちづくりを進める上で、重点的・優先的に進めるべき取り組み（3つまで回答）**

・重点的・優先的に進めるべき取り組みとして、「防災機能を備え、一日中遊べる大規模な公園の整備」（43.5%）や「身近に利用できる公園の整備」（40.6%）、「安全かつ快適にウォーキングできる遊歩道の整備」（36.9%）など、ハード面での取り組みが求められている一方で、「公園や緑地、街路樹などの適正な維持管理」（31.0%）といったソフト面での取り組みも求められています。

項目	回答数
防災機能を備え、一日中遊べる大規模な公園の整備	591
身近に利用できる公園の整備	552
安全かつ快適にウォーキングができる遊歩道の整備	502
公園や緑地、街路樹などの適正な維持管理	422
河川、ため池などの水辺環境の整備	270
手軽にスポーツを楽しめる施設の整備	206
道路や学校など公共施設内の緑化	165
自然とのふれあいや環境学習の場の整備	152
野生動植物の生息・生育環境の保全	130
鉄道駅周辺など、まちの拠点の緑化	123
まとまりのある農地の保全	123
市民・行政・民間事業者との協働による緑の空間の形成	93
緑に関するイベントの開催・情報発信の充実	31
民有地緑化のための支援	25
計	3385

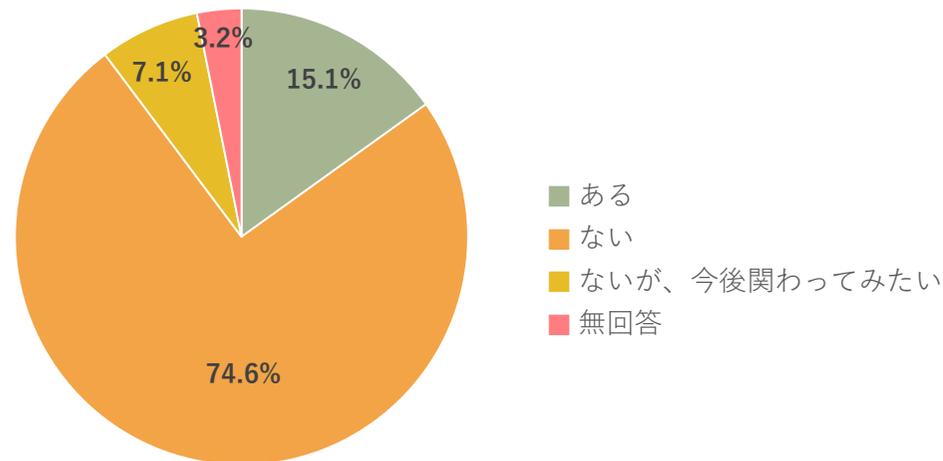


【V あなたの緑に対する取り組みについて】

問19 関わっている緑に対する取り組み（単一回答）

・緑の取組みに関する関心度について、74.6%の市民が緑の取組みに関わったことがないと回答しています。

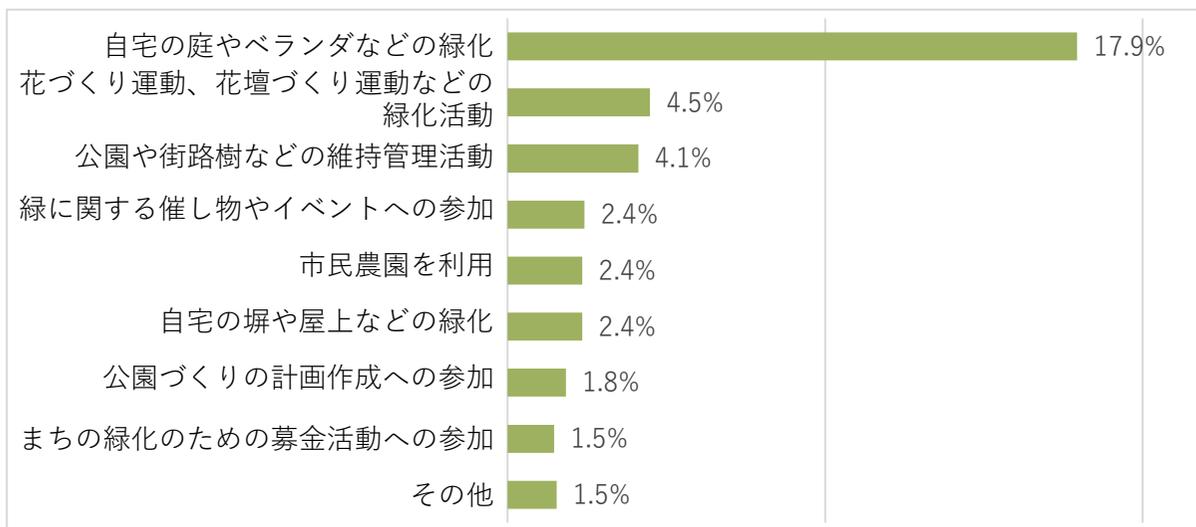
項目	回答数
ある	206
ない	1014
ないが、今後関わってみたい	97
無回答	43
計	1360



問20 (問19で「1. ある」「3. ないが、関わってみたい」と回答した方)  
緑に対する取り組みで、現在関わっていること、または、今後関わってみたいこと（複数回答）

・関わっているもしくは今後関わりたい取り組みとして、「自宅の庭やベランダなどの緑化」（17.9%）が最も多く、次いで「花づくり運動、花壇づくり運動などの緑化活動」（4.5%）、「公園や街路樹などの維持管理活動」（4.1%）が挙げられています。

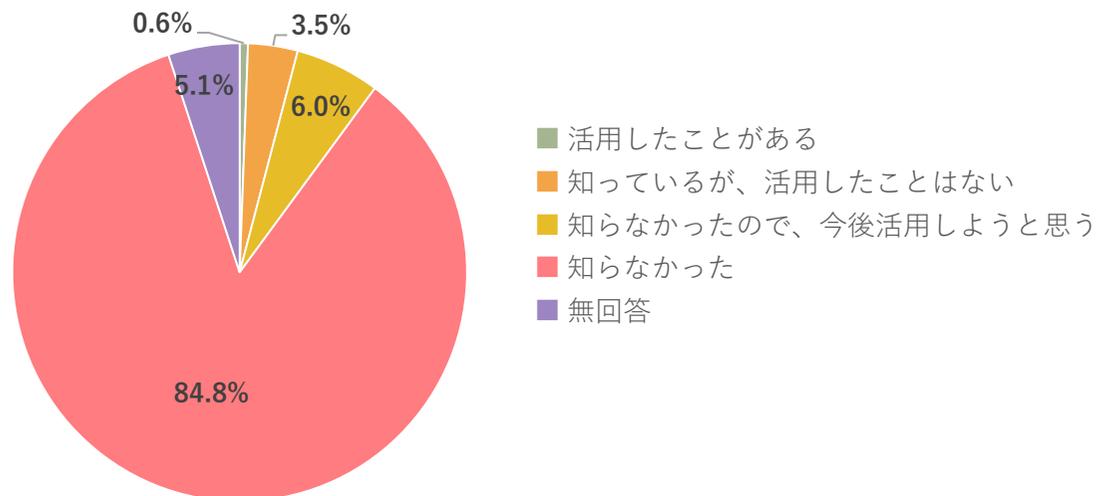
項目	回答数
自宅の庭やベランダなどの緑化	244
花づくり運動、花壇づくり運動などの緑化活動	61
公園や街路樹などの維持管理活動	56
緑に関する催し物やイベントへの参加	33
市民農園を利用	32
自宅の塀や屋上などの緑化	32
公園づくりの計画作成への参加	25
まちの緑化のための募金活動への参加	20
その他	21
計	524



**問21 「あいち森と緑づくり税」を活用した補助金の認知度と活用実績**

・補助金の認知度と活用実績として、「活用したことがある・知っているが、活用したことはない」と回答した市民が4.1%に対し、「知らなかった」と回答した市民が90.8%と市民への認知度は低い状況となっています。また、知らなかったと回答した市民のうち、6.0%は今後活用しようと考えています。

項目	回答数
活用したことがある	8
知っているが、活用したことはない	48
知らなかったのに、今後活用しようと思う	82
知らなかった	1153
無回答	69
計	1360



(4) 自由意見

分類	主な意見
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも安心して生活できるまちづくり</li> <li>・あま市の自然を生かした、緑豊かなまちづくり</li> <li>・水害から守られる安心・安全なまちづくり</li> <li>・あま市の独自性を打ち出したまちづくり</li> </ul>
交通 (道路交通・公共交通)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あま市巡回バスを充実（バス停・ルート再編など）させ、車が無くても安全に便利に移動できるようにしてほしい</li> <li>・道路が狭いのに交通量が多く危険なため、道路拡幅が必要</li> <li>・歩道がなく安全に通行できないため、歩道の設置が必要</li> </ul>
水・緑	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが遊ぶことができ、散歩などを楽しむことができる公園があると良い</li> <li>・新庁舎などの公共施設に緑豊かで安らげる場所があると良い</li> <li>・行政だけでなく、市民や事業者も協力した維持管理の方が重要</li> <li>・農地は水害対策として重要になるため、維持してほしい</li> <li>・公園や緑道は大切だが、整備した後の維持管理の方が重要</li> <li>・公園が少なく、家から歩いて行ける公園が少ない</li> <li>・下水道や用悪水路の整備、維持管理を進めてほしい</li> </ul>
まちのにぎわい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型の商業施設や企業を誘致して、まちのにぎわいを増やしてほしい</li> <li>・地域の人が集い、活躍できる場所（道の駅など）があるとよい</li> <li>・若者が興味を持つ施設や取組が不足している</li> </ul>
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフ地震に備えた防災機能を充実させてほしい</li> <li>・ゲリラ豪雨などの大雨による河川の氾濫が心配</li> <li>・水害時に避難できる場所（高い建物など）が不足している</li> </ul>
防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策（解体補助など）をもっと考えてほしい</li> <li>・夜は街灯がなく暗いため、街灯設置が必要</li> </ul>
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全体の観光ルートを作成してはどうか</li> <li>・甚目寺観音のマルシェは良い取り組みのため、もっとPRするべき</li> <li>・七宝焼を活用して人をたくさん呼び込む仕掛けを考えるべき</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの年代に応じた情報発信やPRの仕方を考えてほしい</li> <li>・公共施設（アートヴィレッジなど）を有効活用してほしい</li> </ul>